

本校生徒の学習実態についての調査

筑波大学附属駒場中・高等学校 生徒部

大道 明，石川祐爾，入江友生，大谷悦久，
貝沼嘉兵，合田浩二，濱本悟志

本校生徒の学習実態についての調査

昭和59年度 生徒部

大道 明 石川 祐爾 入江 友生 大谷 悦久

貝沼 喜兵 合田 浩二 浜本 悟志

協力者 城戸 一夫（研究部）

〔実態調査の目的〕

昨年度生徒部は中一から高三の生徒を対象に「悩みの実態」に関する調査を実施した。その結果、学校生活上の悩みで最も大きなものとして、「学校での勉強のつまらなさ」「学校生活のつまらなさを挙げる生徒が学年を追うにつれ増加していることが分かった。また、7～8割の生徒が学習成績について悩んでおり、その内容として「成績が思うように伸びない」ことを4～5割の生徒が挙げている。

そこで、今年度は前年度の調査結果を踏まえて、悩みの主要部分を占める「授業」や「学習」に関して生徒が抱えている問題点をより具体的に明確にすることを企画した。また、以前に生徒自治会が実施した「授業」や「学習」についての調査と今回の調査を比較することによって、その当時と現在で生徒の「授業」「学習」の実態や意識要求がどう変化したかを明らかにすることも調査目的の一つとした。

最後に、保護者を対象に「本校入学の動機と現在の気持」「本校の授業についての要望」等についての調査を実施したことがある。（1983年12月駒場会報78号集録）

そこで、今回の調査では、保護者と共通する設問を設けることによって、両者の意識の共通点と相異点を明らかにすることもねらいの一つとした。

〔調査内容〕

- 〔1〕 入学の動機と入学後の感想（設問①～③）
- 〔2〕 授業についての全体的印象、興味と関心の度合、授業改善の方向、学習成績についての満足度、尊敬する教師の有無とそのタイプ等（設問1～17）
- 〔3〕 授業に満足・不満足な教科とその理由、学習時間、受験と授業とのかかわり（設問18～24）
- 〔4〕 塾・予備校等について（設問25～27）
- 〔5〕 学習目的、本校教育の改善方向等について（設問28～31）
- 〔6〕 学校行事について（設問32～33）

〔調査方法〕

1. 調査対象（中一～高三生徒全員）

回収数	中学一年生	119名	中学二年生	121名	中学三年生	120名
	高校一年生	161名	高校三年生	152名	高校三年生	143名
	中学生総計	360名	高校生総計	456名	中・高総計	816名

2. 調査方法

マーク式10肢選択カードを用い、一肢選択

調査年月日 59年6月

3. 結果の処理

本校コンピューターにより処理した後、グラフを作成。

単純集計、クロス集計ともにグラフの数値を%で示した。

設問1 3 7 8 9 10 13, クロス3, 5, 8のグラフの右側に加重平均値を示した。

なお、母集団が二学年以上にわたり10名以下の場合には原則として学年別集計を行わなかった。

〔調査問題と単純集計結果〕

〔1〕入学の動機と入学後の感想

- ① 次のイ～リのすべての事項について、入学前にこの学校を選択する理由になったものには(1), どちらかといえば選択する理由になったものには(2), どちらともいえなかったものには(3), どちらかといえば選択する理由にならなかったものには(4), 選択する理由とならなかったものには(5), をそれぞれマークしてください。

イ. 高校進学に悩まされないですむから（中のみ回答）

ロ. 学力の向上が期待できると思ったから

ハ. 学力面以外にも人間形成がはかれると思ったから

ホ. 交通の便や学校周辺の環境がよいから

ト. よい友人関係ができると思えたから

リ. 男子校だから

ニ. 東大などへの進学者が多いから

ヘ. よい先生がいると思えたから

チ. 保護者にすすめられたから

- ② 現在もイ～リの事項のすべてについて、入学したときと同じ感想をもち続けていますか。

そうである場合には(1), どちらかといえばそうである場合には(2), どちらともいえない場合には(3), どちらかといえばそうでない場合には(4), そうでない場合には(5), をそれぞれマークしてください。

イ. 高校進学に悩まされないですむから（中のみ回答）

ロ. 学力の向上が期待できると思ったから

ハ. 学力面以外にも人間形成がはかれると思ったから

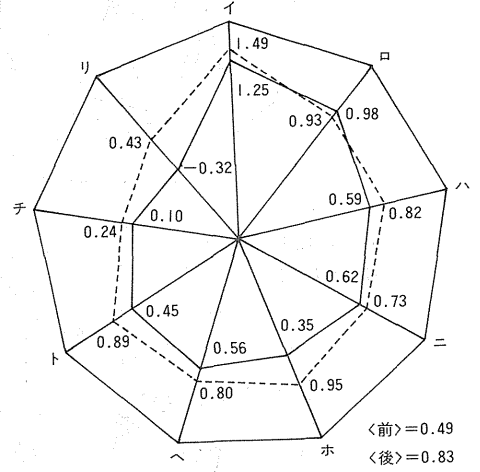
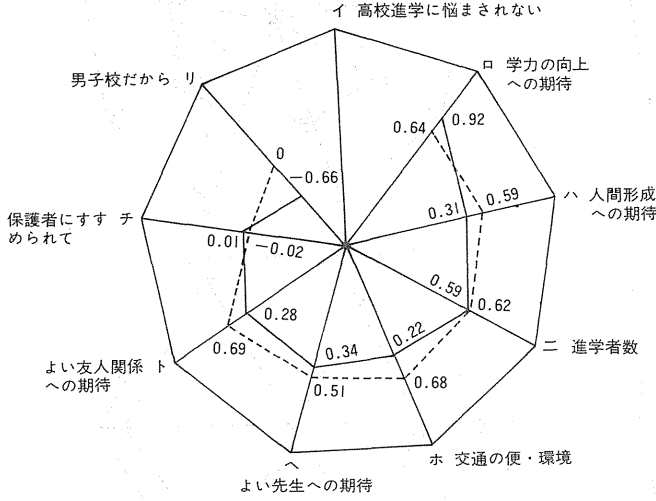
ニ. 東大などへの進学者が多いから

- ホ. 交通の便や学校周辺の環境がよいから
- ト. よい友人関係ができると思えたから
- リ. 男子校だから

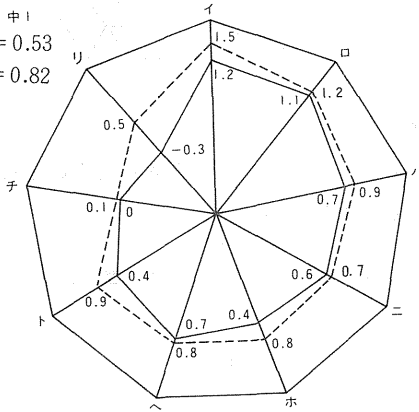
- ヘ. よい先生がいると思えたから
- チ. 保護者にすすめられたから

中・高全体

中・全体

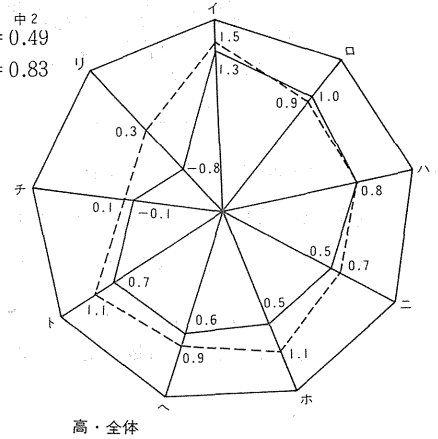


中1
<前>=0.53
<後>=0.82

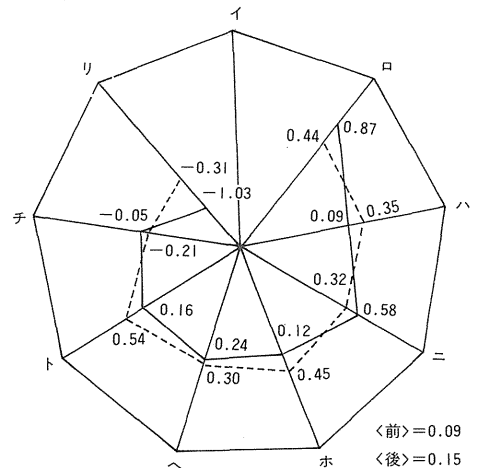
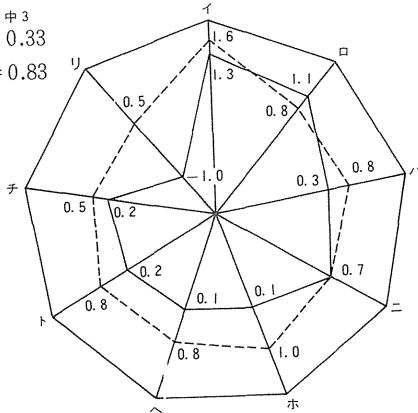


中2
<前>=0.49
<後>=0.83

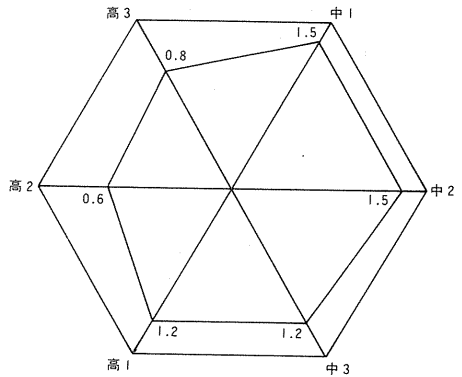
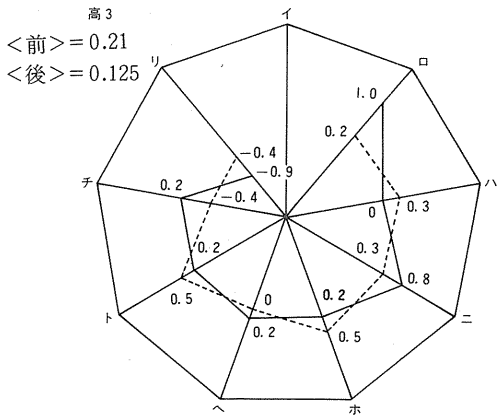
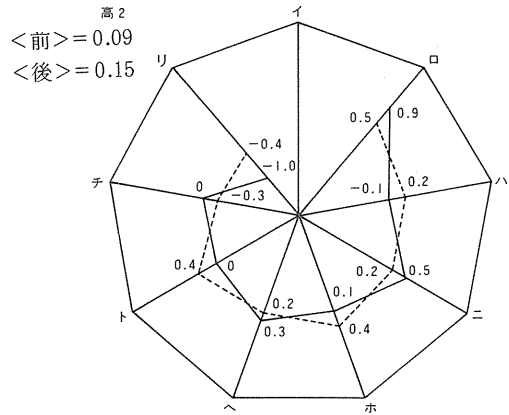
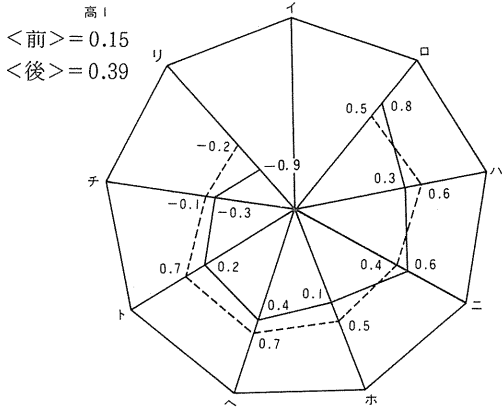
— 入学前
..... 入学後



中3
<前>=0.33
<後>=0.83



□



③ この学校に入学して全体としてよかったですか。

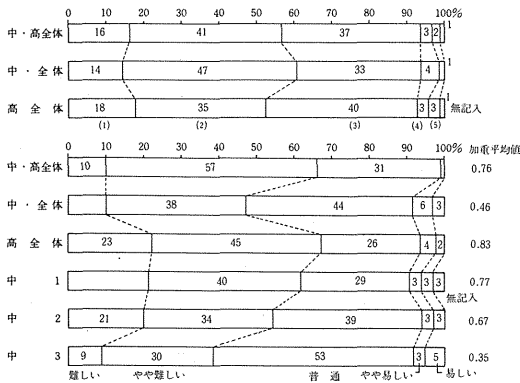
- (1) そう思う (2) どちらかといえばそう思う (3) どちらともいえない
 (4) どちらかといえばそう思わない (5) そう思わない

<注>①~③の図は選択肢 1 = +2, 2 = +1, 3 = 0, 4 = -1, 5 = -2 とし, それぞれの選択者数を乗じ, その総和を回答者数で割った数値を表示したもの。

〔Ⅱ〕 授 業

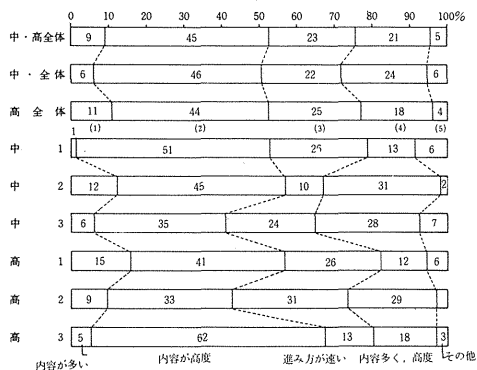
1. この学校の授業について全体としてどんな印象をもっていますか。

- (1) 難しい (2) やや難しい (3) 普通
(4) やや易しい (5) 易しい



2. <1で(1)~(2)と答えた人に>その理由は何ですか。

- (1) 内容が多すぎる (2) 内容が高度である
(3) 進みかたが速い
(4) 内容が多く、高度である (5) その他



2の「その他」の内容

中1・あまり詳しく説明してもらえない(2人)

- ・内容が高度なうえ進みかたが速い
- ・宿題をやってもダメにされることがある
- ・先生の教え方がおかしいことがある
- ・数学は高度(2人)
- ・地理は宿題が多い
- ・英語は進みかたが遅い

中2・科目によってちがう

- ・難しいが、それでもちょうど良い

中3・科目によってちがう ・進むのが速い

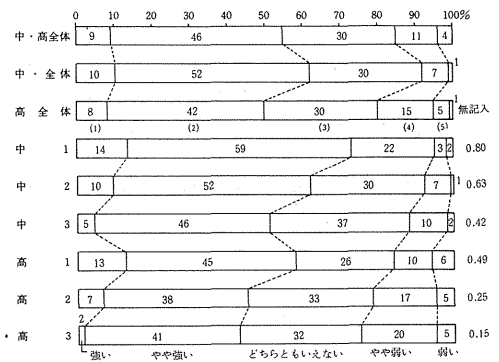
- ・教え方が悪い(3人)
- ・復習の手段がノートしかない
- ・英語は進みかたが遅い

高1・教師が分からせようとしらない

- ・好奇心がわからない
- ・教え方が雑で理解しにくい
- ・生徒への接しかたが悪い
- ・一部の講師の授業に対する投げやりな態度が授業をより難解なものにしている

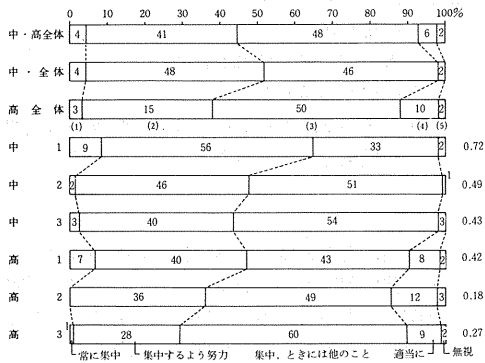
3. 授業にどの程度の興味と関心がありますか。

- (1) 強い興味と関心をもっている (2) 興味と関心をもっている
(3) どちらとも言いきれない (4) あまり興味や関心がない
(5) まったく興味がない



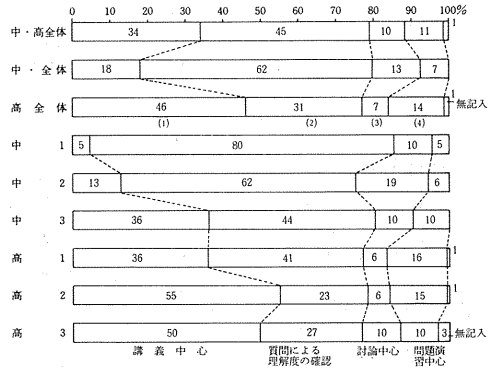
4. どの程度集中して授業に取り組んでいますか。

- (1) いつでも集中して取り組んでいる
 (2) 集中するように努力している (3) 集中するときもあるが、他のことをしていることもある
 (4) 適当に聞き流し、ときには無視している (5) 無視している



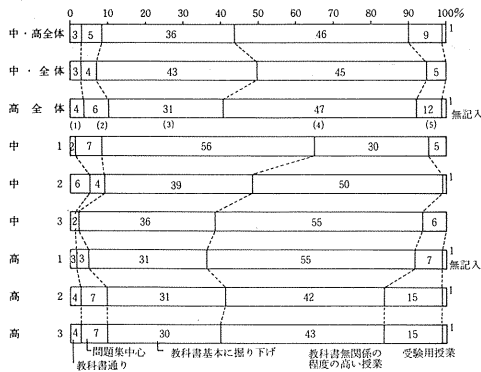
6. どのようなやり方で授業を進めて欲しいですか。

- (1) 講義中心に進める (2) 質問を混じえて生徒の理解の度合を確かめながら進める
 (3) 生徒の討論を中心に進める (4) 問題演習を中心に進める



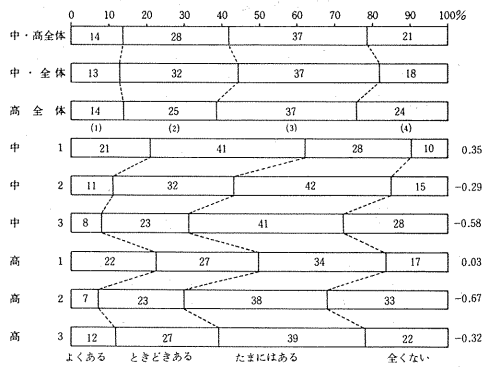
5. どのような内容の授業をして欲しいですか。

- (1) 教科書どおりに進める (2) 教科書を早く終え、問題集をやる (3) 教科書を基本に少し掘り下げた授業をする (4) 教科書とは関係なく、教師の独自の計画で程度の高い授業をする (5) 受験に充分に役立つ授業を基本とする



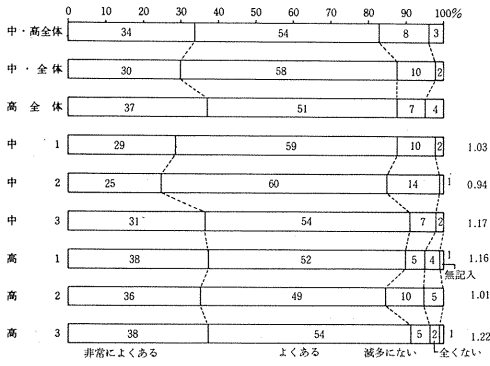
7. 授業中、友人の発言や発表などで学習意欲を刺激されたことがありますか。

- (1) よくある (2) ときどきある
 (3) たまにある (4) 全くない



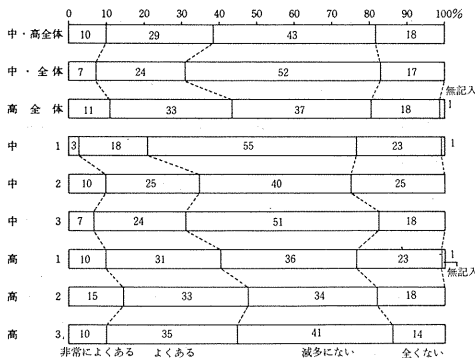
8. 「勉強しなければならない」という気持ちをもつことがありますか。

- (1) 非常によくある (2) よくある
(3) 滅多にない (4) 全くない



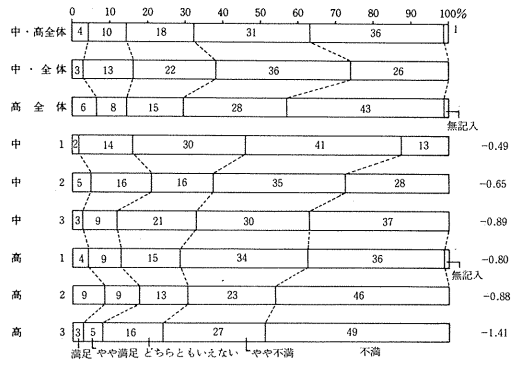
9. 「勉強しても駄目なのではないか」という不安感をもつことがありますか。

- (1) 非常によくある (2) よくある
(3) 滅多にない (4) 全くない



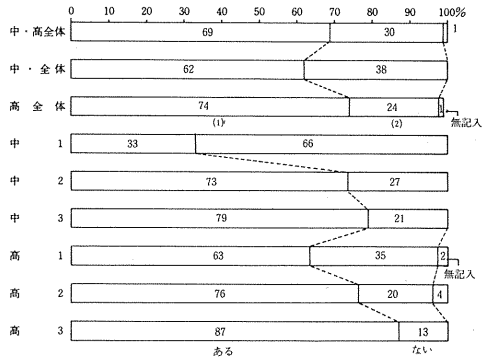
10. 現在の学習成績に満足していますか。

- (1) 満足している (2) だいたい満足している
(3) どちらともいえない (4) やや不満である (5) 不満である



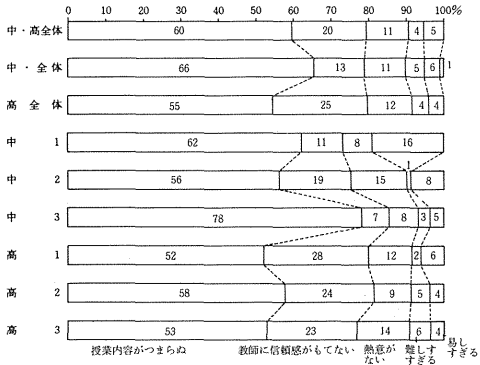
11. 教師によって授業態度を変えることがありますか。

- (1) ある (2) ない



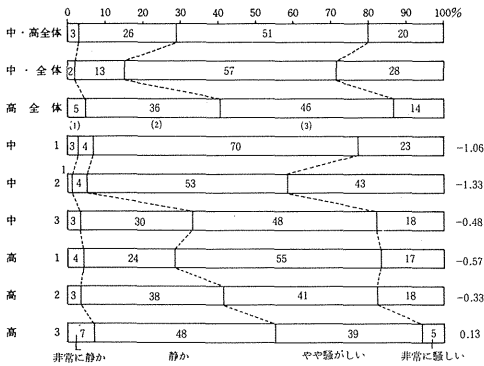
12. <11で(1)と答えた人に>その理由は何ですか。

- (1) 授業内容がつまらないから (2) 教師に信頼感がもてないから (3) 教師に熱意がなくなげやりだから (4) 授業内容が難しすぎるから (5) 授業内容が易しすぎるから



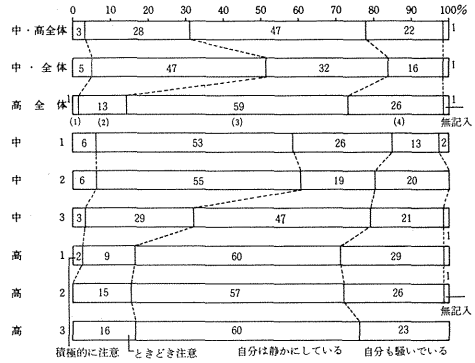
13. 授業の際のクラスの全体的な雰囲気はどうですか。

- (1) 非常に静かである (2) 静かである (3) やや騒がしい (4) 非常に騒がしい



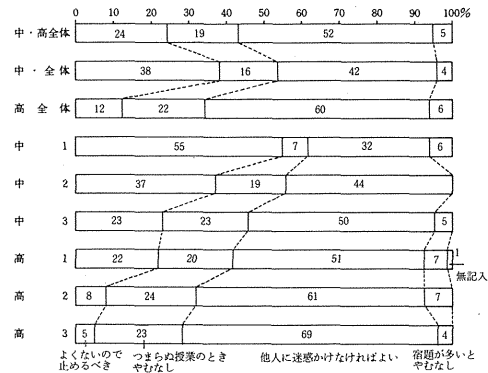
14. 授業中、おしゃべりに夢中な生徒に対して、どのような態度で接していますか。

- (1) 積極的に注意する (2) ときどき注意する (3) 注意はしないが、自分は静かにしている (4) 自分も騒いでいるので何もしない



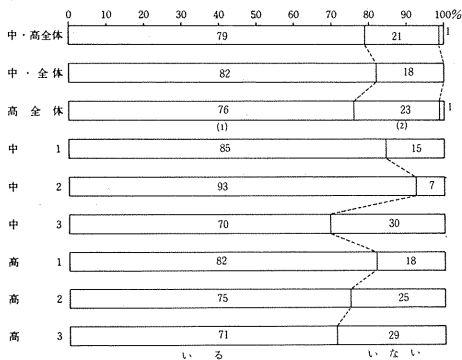
15. 授業中の「内職」についてどう思いますか。

- (1) よくないので止めるべきだ (2) つまらない授業のときはやむをえない (3) 他人に迷惑をかけなければよい (4) 宿題が多いときには、「内職」しないと処理できない



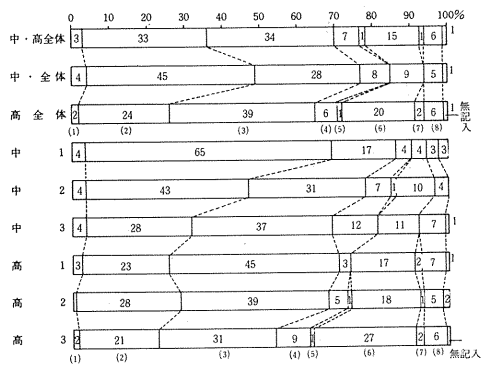
16. この学校に尊敬できる教師はいますか。

(1) いる (2) いない



17. どのような教師を尊敬しますか。

(1) わかる授業をする教師 (2) 授業に興味と関心をもたせてくれる教師 (3) 人間的に暖かみのある教師 (4) 自分のことを理解してくれる教師 (5) クラブ指導をよくしてくれる教師 (6) 信頼感のもてる教師 (7) 受験勉強を配慮してくれる教師 (8) その他



17の「その他」の内容

中1・問題意識をもっている教師

- ・親しみをもて接しやすく、授業の分かりやすい教師
- ・自分のことを「いい先生」と思っている教師

中2・熱心な先生 ・面白い先生 ・授業に興味を持たせてくれる先生 ・人間的に暖かみのある先生 ・いない

中3・質問をしたとき、熱心にわかりやすく教えてくれる教師

・詳しい授業をする人 (2人)

・話のうまい人 ・選択肢作成者の「尊敬」の概念に疑問をもつ (もっと人間的なものだ)

高1・若くて真面目であまりしゃべらない先生

・尊敬する人はいない ・尊敬とはもっと別のものだ ・人間的に深みのある人

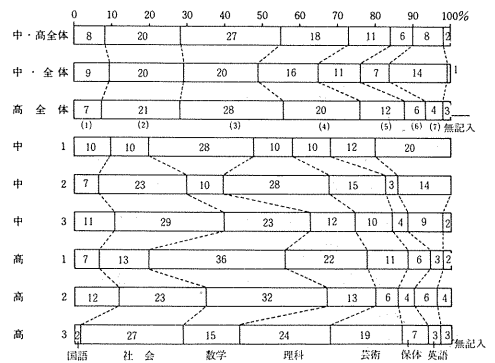
・才能のある人 ・いろいろな原因の総合である ・心の広い教師 ・中野先生 (信頼がおけ、温厚な先生)

・(2)+(3)+(6)

〔Ⅲ〕 学習内容について

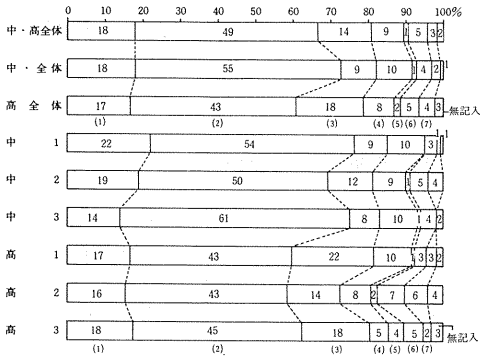
18. 今まで受けてきた授業で (現在受けているものも含めて) 満足できる教科は何ですか。

(1) 国語 (2) 社会 (3) 数学 (4) 理科 (5) 芸術 (6) 保健体育 (7) 英語



19. 満足できた理由は何ですか。

- (1) 授業内容がすばらしいから (2) その教科内容に興味・関心をもっているから (3) 担当の先生に人間の魅力を感じたから (4) 自分の力が十分に発揮できたから (5) 受験に役立つから (6) 将来の勉強に役立つと思えたから (7) その他

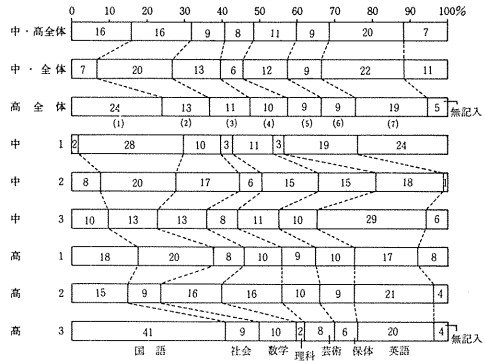


19の「その他」の内容

- 中1・あまり難しくないから
 中2・満足できるものではない ・わかる授業をするから(2人) ・努力すればそれなりに向上したし、先生もすばらしい
 ・教師が関心・興味をもたせてくれるから
 ・分からないところは徹底的に教えてくれる
 ・他にないから ・(2)+(4)
 高1・気持がよい ・中学のときにやっと自分の言いたいことが書けるようになった
 ・最も教科書を無視しているように思うから
 ・好きだから
 高2・授業内容のすばらしい先生がいたから
 高3・健康によい
 ・授業に熱意が満ちているから

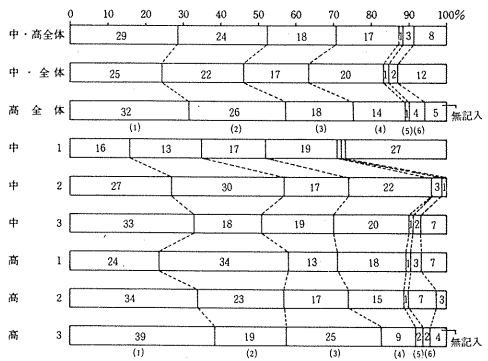
20. 今まで受けてきた授業で(現在受けているものも含めて)不満のある教科は何ですか。

- (1) 国語 (2) 社会 (3) 数学 (4) 理科 (5) 芸術 (6) 保健体育 (7) 英語



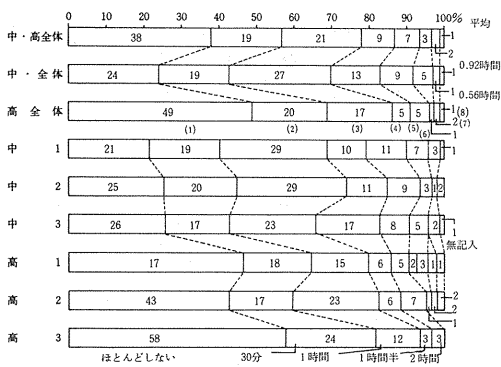
21. 不満な理由は何ですか。

- (1) 授業内容がつまらないから (2) その教科内容に興味・関心をもてないから (3) 担当の先生に熱意が感じられないから (4) 自分の力が十分に発揮できないから (5) 受験に役立つから (6) 将来の勉強に役立つと思えないから



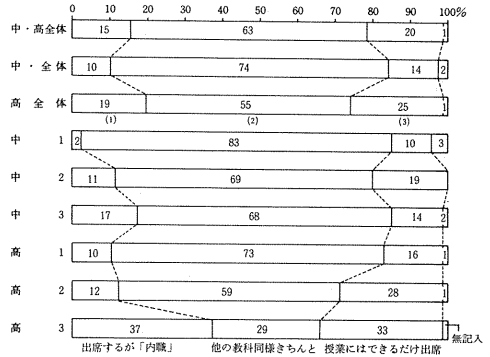
22. 毎日の授業のための予習や復習を一日あたりどのくらいしますか。

- (1) ほとんどしない (2) 30分 (3) 1時間 (4) 1時間30分 (5) 2時間
(6) 2時間30分 (7) 3時間 (8) 3時間以上



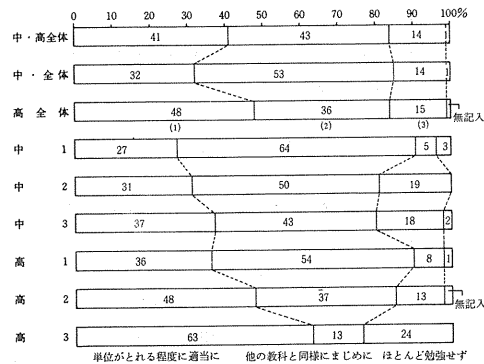
24. <23のような教科の授業に対して>どのような態度でのぞんでいますか。

- (1) 一応出席するが、「内職」をしている
(2) 他の教科と同様にきちんと受ける
(3) 授業には、できるだけ出席する



23. 直接受験に関係しない教科の学習にどのように取り組んでいますか。

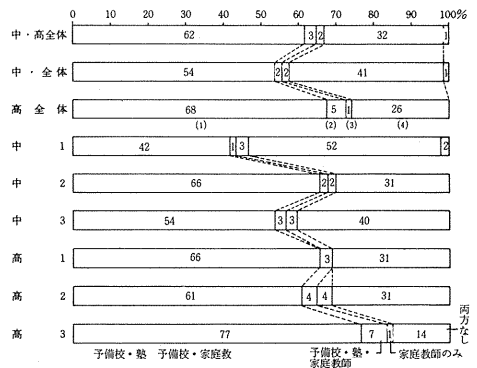
- (1) 単位がとれる程度に適当にやる (2) 他の教科と同様にまじめにやる (3) ほとんど勉強しない



〔Ⅳ〕塾・予備校等

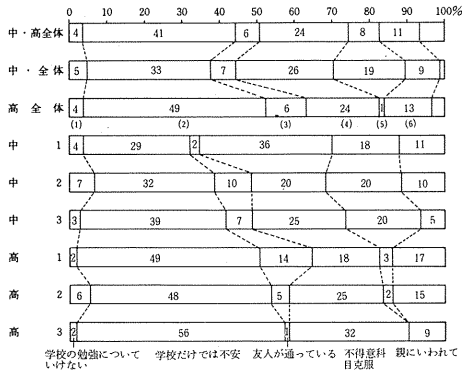
25. 現在、予備校や塾に通ったり、家庭教師にいたりしていますか。

- (1) 予備校・塾のみ (2) 予備校・塾と家庭教師の両方 (3) 家庭教師のみ (4) 両方ともない



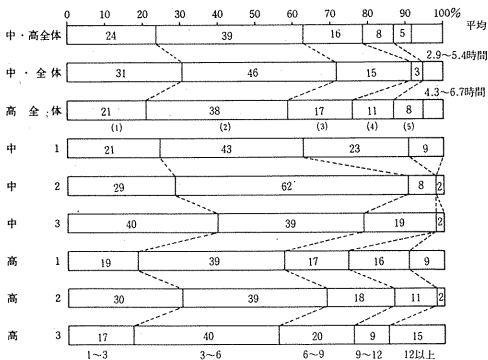
26. <25で(1)~(3)と答えた人に>その理由は何ですか。

- (1) 学校の勉強についてゆけないから (2) 学校だけでは不安だから (3) 友人が通っていることに刺激されて (4) 不得意科目の勉強のため (5) 親にいわれて (6) なんとなく気休め



27. <25で(1)~(3)と答えた人に>予備校・塾あるいは家庭教師について勉強している時間は一週あたりどのくらいですか。

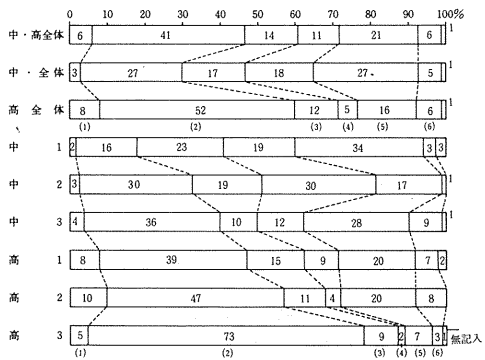
- (1) 1~3時間 (2) 3~6時間 (3) 6~9時間 (4) 9~12時間 (5) 12時間以上



〔V〕学習環境

28. この学校の教育の平均的なイメージはなにかですか。

- (1) 教師による受験指導がよくなされている (2) 教師は受験指導をしていないが、生徒は受験勉強している (3) 基本的な教育内容の履修が徹底されている (4) 人間教育が教科教育の中によく反映している (5) 専門的な学問研究が教科教育の中によく反映している (6) その他



28の「その他」の内容

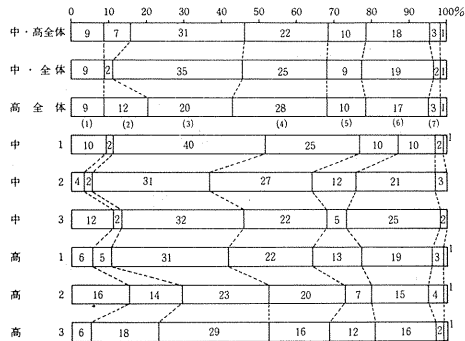
- 中1・先生独自の教育をしている
 - ・分からない (2人)
 - ・教科書に関係なく高度な勉強をしている
- 中2・分からない
 - ・(1)+(4)+(5)
- 中3・ただ授業に出させているだけで本当に分からせようとしていない
 - ・人間教育が全くない
 - ・自由な校風
 - ・進度が遅い
 - ・分からない
 - ・熱心な人と不熱心な人の差がひどい
 - ・公立校より進んでいるが専門的でない
 - ・生徒に理解できる程度の高度な授業をしている
- 高1・まだ分からない
 - ・学校という形態をとっているだけ
 - ・授業はそんなに特別でないが、生徒が真面目に学習している
 - ・どの科目についても教師の独自の方法と考えによって授業が行なわれている (2人)
 - ・教師の職権濫用
 - ・普通である
 - ・教師は生徒に対する拘束の中で自己満足している
 - ・おとなしい生徒を待遇し、つまらない人間を養成しているようだ
 - ・体育を除く講師が実によくがんばる

高2・暗い

高3・(2)~(4)のすべて ・たてまえ(人間教育)と本音(東大現役合格者数アップ)がはっきりと分裂症状をおこしている
 ・こんな下らない調査をするというだけで程度がわかる

29. 何を目的としてこの学校で勉強していますか。

- (1) 受験技術の習得 (2) 卒業証書の取得
 (3) 教養の涵養 (4) 将来の専門的探求のため準備 (5) 友人との切磋琢磨 (6) 特になし (7) その他

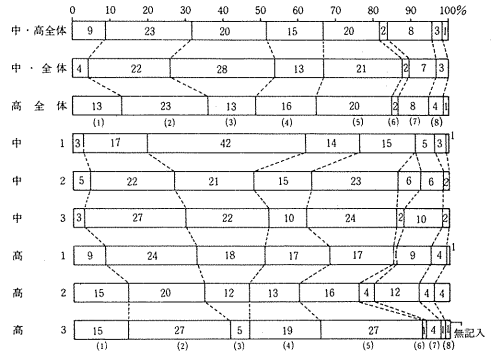


29の「その他」の内容

- 中1・自分のため ・友人関係をよくするため
 中2・人間の形成 ・分からない ・(3)+(5)
 中3・自分でやりたいと思ったから
 ・より多くの知識・思考との接触
 ・特になし
 高1・単に知識欲を満たすため
 ・基本的内容の把握
 高3・受験指導はされても人間教育が徹底されていない
 ・(3)+(5)
 ・視野を拡げること
 ・よりよく生きること

30. この学校の教育をどういう方向に改善して欲しいですか。

- (1) 受験指導の強化 (2) 個人の個性や能力を伸ばす個別指導の強化 (3) 「落ちこぼし」のないいい学習指導 (4) 人間教育の充実強化 (5) 向学心を満足させられるような環境整備 (6) その他

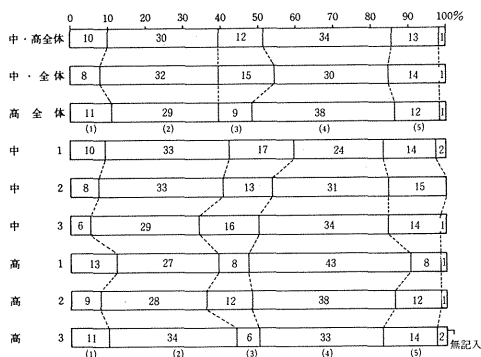


30の「その他」の内容

- 中1・落ちこぼれのないよう教科書に沿った教師独自の教育
 ・特になし
 中2・選択教科を増やして欲しい
 ・このままで良い
 ・特になし
 中3・共学にして健全な人格の育成
 ・各教科ごとの専門知識の解説
 ・勉強以外の種々な問題の相談相手
 高1・管理教育の改善
 ・自分の好きな科目を可能なかぎり伸ばす
 ・知識は勿論、知恵を持っている人で常に自分をバックアップしてくれるような人
 ・まともな人間
 ・文部省から独立させて欲しい
 高2・知的好奇心を満たし、真理を追求するため
 高3・視点を変えて物を見て自分の偏りを是正する能力の強化

31. この学校にどのような友人が多くいることが望ましいですか。

- (1) 極めて高い学力水準をもつ友人が多いこと
 (2) ある程度以上の比較的高い学力水準をもつ友人が多いこと
 (3) 平均的な学力水準をもつ友人が多いこと
 (4) いろいろな学力水準をもつ友人が多いこと
 (5) その他



31の「その他」の内容

- 中1・学力は少し低くても思いやりがあり、気軽につきあえる人
- ・明るく性格が良いこと
 - ・友人関係を重く考えるひと (2人)
 - ・学力水準で友人を決めていない
 - ・個性があり面白い人 (3人)
 - ・やさしくて思いやりがある人 (4人)
 - ・学力関係でいやみを感じられず、人間的にあたたかみのある人
 - ・勉強ができるだけでなく助けあえる人
- 中2・励ましあえる人 ・利己主義でない人
- ・人間味のある人 (3人)
 - ・他人をけおとそうとしない人
 - ・個性のある人 ・気のあう人 (3人)
 - ・優しさのある人 (5人)
 - ・授業にこだわらず明るい人 (4人)
 - ・頼りがいのある人 (2人)
- 中3・学力はいつでもよい (2人)
- ・温かい人 (3人) ・人間らしい人
 - ・人間らしい人 (2人)
 - ・気のあう人 (2人) ・好きな人 (2人)
 - ・友人を理解できる人 (2人)
- 高1・バイタリティのある人
- ・学力は関係ない (2人) ・楽しい人
 - ・人間的にわかりあえる人
 - ・腹を割って話せる人
 - ・何かを開拓しているような印象を受ける

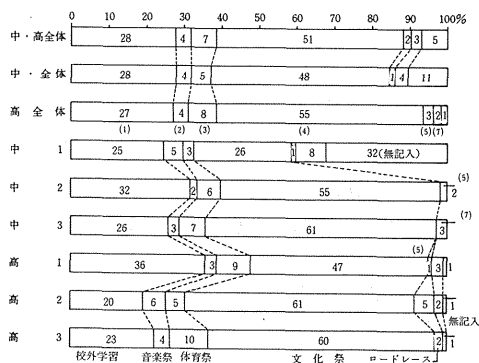
人 ・誰でもよい

- 高2・学力は関係ない (4人)
- ・興味を同じくする人 (2人)
 - ・飽くなき向上心と知的欲求をもつ人
 - ・個性あり頭の切れる人 ・楽しい人
- 高3・学力は関係ない (6人)
- ・人間的器の大きい人 (2人)
 - ・個性のある人 (2人)
 - ・オープンな人 ・同趣味の人
 - ・他人から変人だと言われる人
 - ・様々なタイプの友人が多いこと
 - ・意地悪く暴力を振るわぬ人 ・面白い人
 - ・自分をたかめてくれる人

〔Ⅵ〕その他

32. 一番好きな学校行事は何ですか。

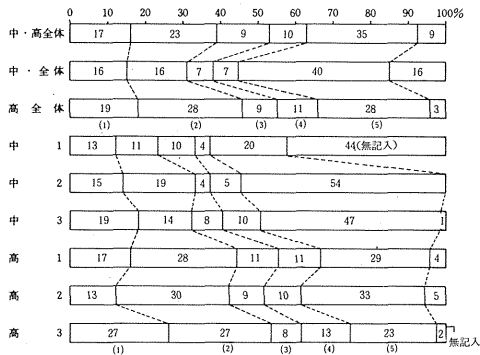
- (1) 校外学習 (2) 音楽祭 (3) 体育祭
 (4) 文化祭 (5) ロードレース (6) 弁論大会 (中のみ) (7) その他



- 中1・クラブ合宿 ・まだやっていない
 中3・絵画・音楽・映画鑑賞
 高1・遠足
 高3・駒場カップ ・芋づくり

33. その理由は何ですか。

- (1) 自主的な活動ができるから (2) 友人との連帯感が深まるから (3) 友人の性格や能力が理解できるから (4) 自分の能力や才能を発見したり、伸ばしたりできるから
 (5) 授業とは違って解放感がえられるから

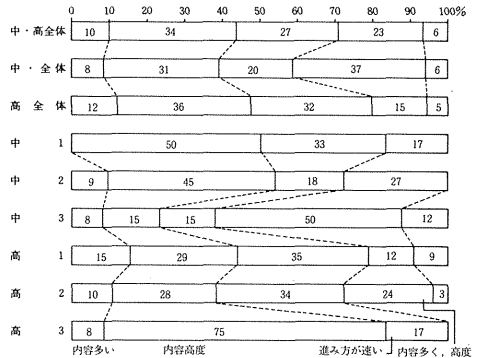


〔クロス集計結果〕

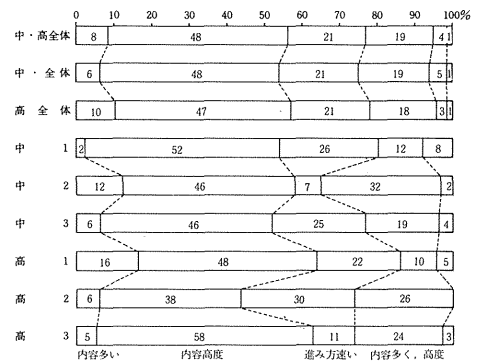
1. 授業の難易度とその理由（設問1と2）
 選択肢

- (1) 内容が多すぎる (2) 内容が高度である
 (3) 進みかたが速い (4) 内容が多く、高度である (5) その他

(1) 難しい



(2) やや難しい

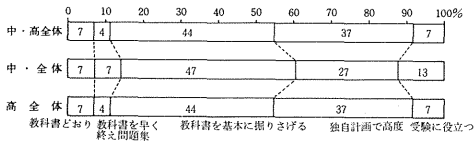


2. 授業に対する集中度と希望する授業内容（設
問4と5）

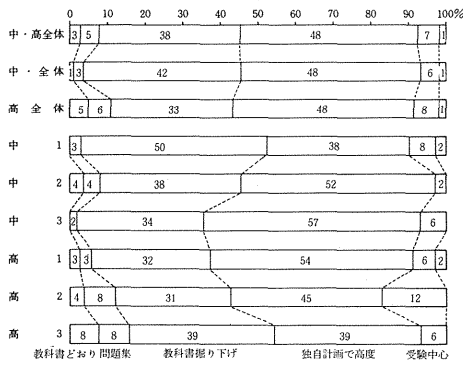
選択肢

- (1) 教科書どおりに進める (2) 教科書を早く
終え、問題集をやる (3) 教科書を基本に
少し掘りさげた授業をする (4) 教科書とは
関係なく、教師の独自の計画で程度の高い授業
をする (5) 受験に充分に役立つ授業を基本
とする

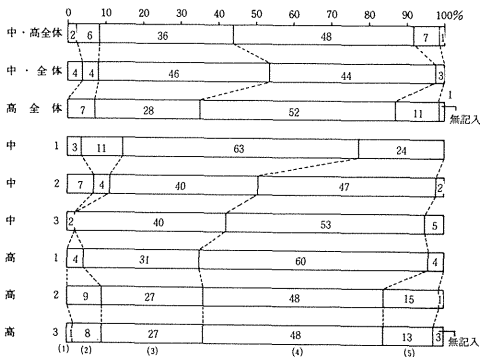
(1) いつでも集中している



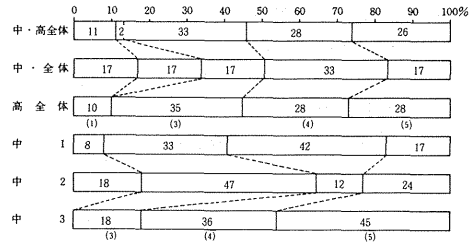
(2) 集中するように努力している



(3) 集中するときもあるが、他のことをしている
こともある



(4) 適当に聞き流し、ときには無視している

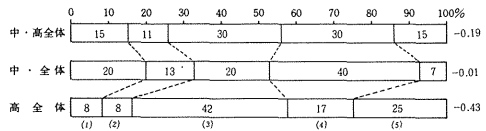


3. 授業に対する集中度と学習成績の満足度（設
問4と10）

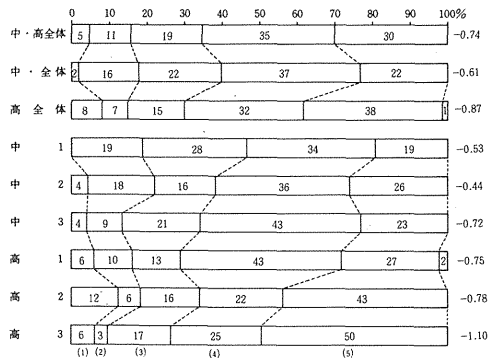
選択肢

- (1) 満足している (2) だいたい満足してい
る (3) どちらともいえない (4) やや不
満である (5) 不満である

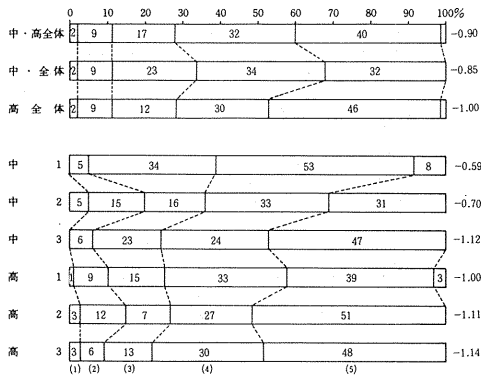
(1) いつでも集中している



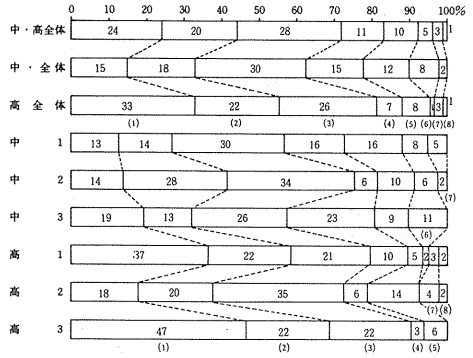
(2) 集中するように努力している



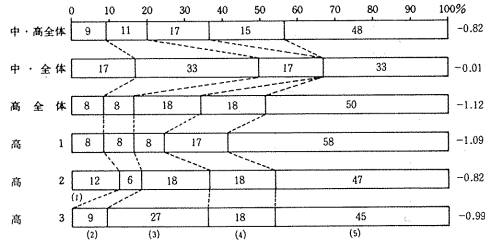
(3) 集中するときもあるが、他のことをしていることもある



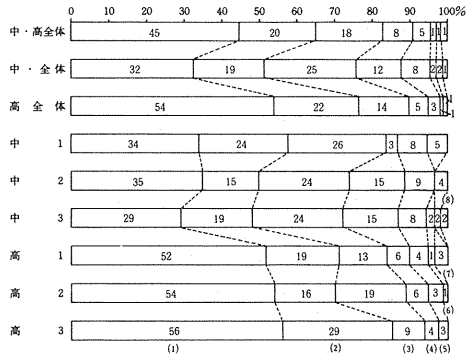
(2) 集中するように努力している



(4) 適当に聞き流し、ときには無視している。



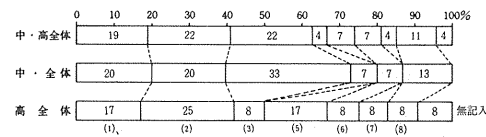
(3) 集中するときもあるが、他のことをしていることもある



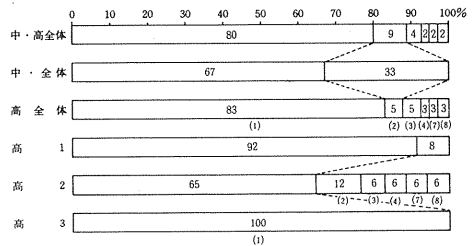
4. 授業に対する集中度と予習・復習の時間 (設問 4 と 22)
選択肢

- (1) ほとんどしない (2) 30分 (3) 1時間
(4) 1時間30分 (5) 2時間
(6) 2時間30分 (7) 3時間 (8) 3時間以上

(1) いつでも集中している



(4) 適当に聞き流し、ときには無視している

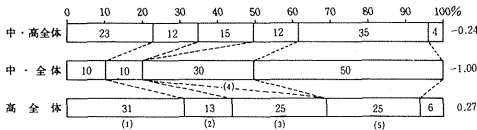


5. 希望する授業内容と学習成績の満足度（設問 5 と 10）

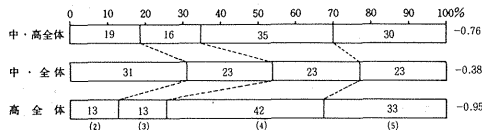
選択肢

- (1) 満足している (2) だいたい満足している (3) どちらともいえない (4) やや不満である (5) 不満である

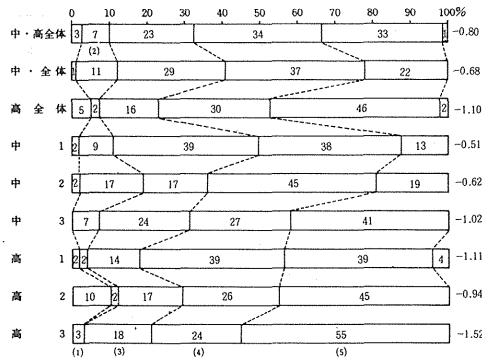
(1) 教科書どおり



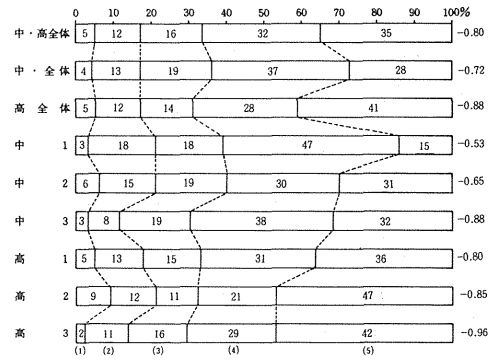
(2) 教科書を早く終え、問題集をやる



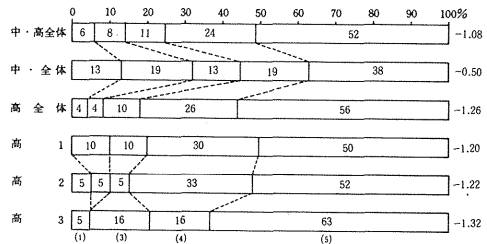
(3) 教科書を基本に少し掘り下げた授業をする



(4) 教科書とは関係なく、教師の計画で程度の高い授業をする



(4) 受験に十分に役立つ授業を基本とする

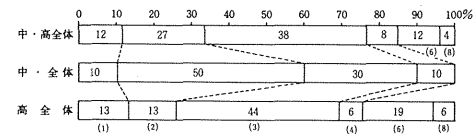


6. 希望する授業内容と尊敬する教師のタイプ（設問 5 と 17）

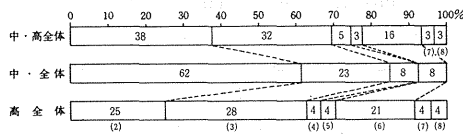
選択肢

- (1) わかる授業をする教師 (2) 授業に興味と関心をもたせてくれる教師 (3) 人間的に暖かみのある教師 (4) 自分のことを理解してくれる教師 (5) クラブ指導をよくしてくれる教師 (6) 信頼感のもてる教師 (7) 受験勉強を配慮してくれる教師 (8) その他

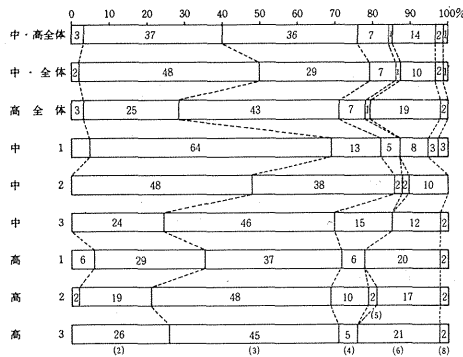
(1) 教科書どおり



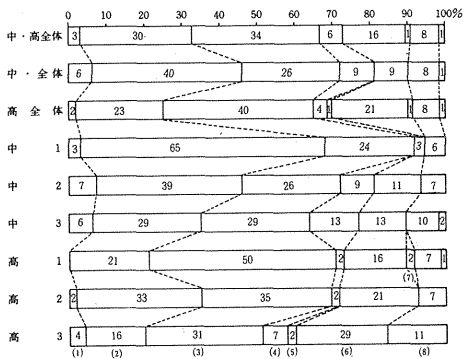
(2) 教科書を早く終え、問題集をやる



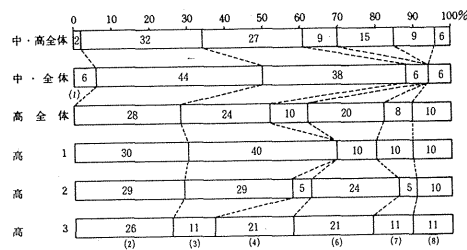
(3) 教科書を基本に少し掘りさげた授業をする



(4) 教科書とは関係なく、教師の独自の計画で程度の高い授業をする



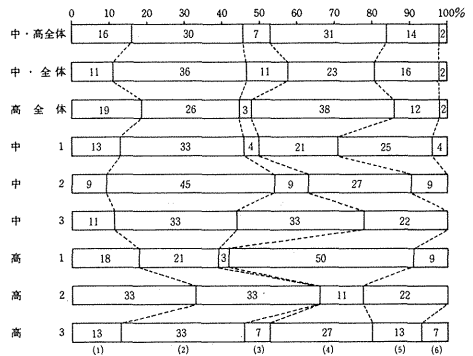
(5) 受験に充分に役立つ授業を基本とする



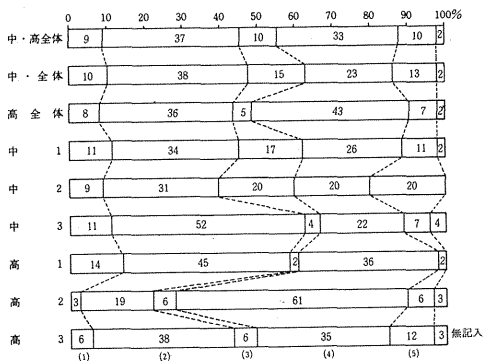
7. 友人による学習意欲の刺激の度合と望ましい友人環境 (設問7と31)
選択肢

- (1) 極めて高い学力水準をもつ友人が多いこと
- (2) ある程度以上の比較的高い学力水準をもつ友人が多いこと
- (3) 平均的な学力水準をもつ友人が多いこと
- (4) いろいろな学力水準をもつ友人が多いこと
- (5) その他

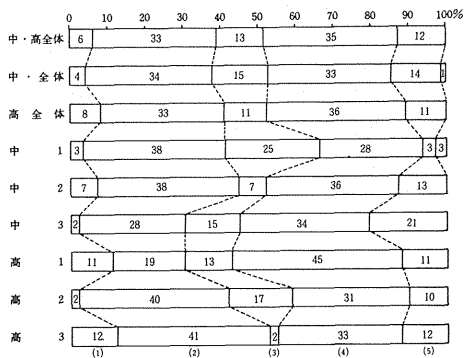
(1) よくある



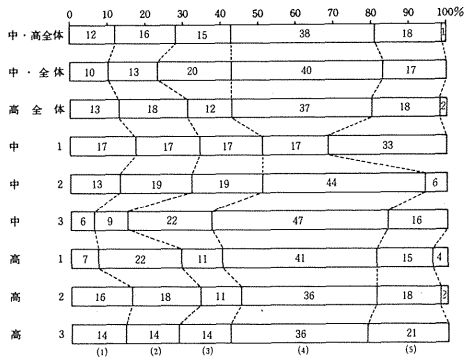
(2) ときどきある



(3) たまにはある



(4) 全くない

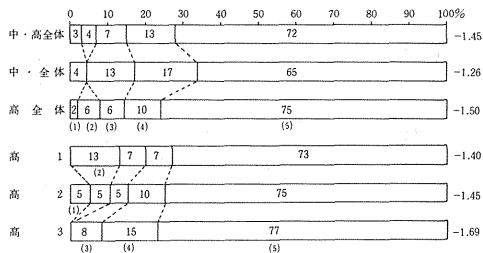


8. 勉強しても駄目なのではないかという不安感と学習成績の満足度（設問9と10）

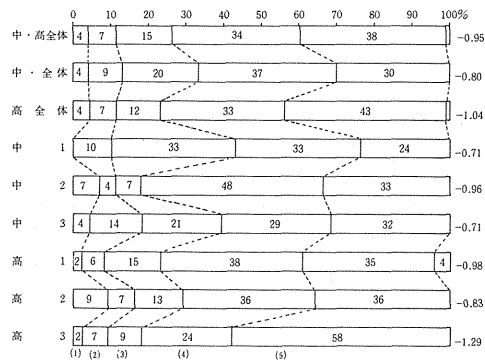
選択肢

- (1) 満足している (2) だいたい満足している (3) どちらともいえない (4) やや不満である (5) 不満である

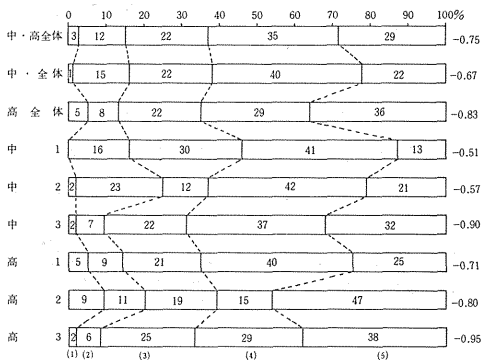
(1) 非常によくある



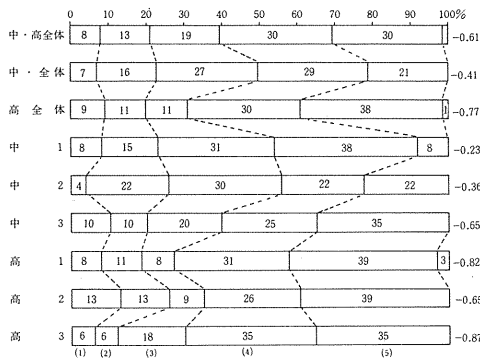
(2) よくある



(3) 滅多にない



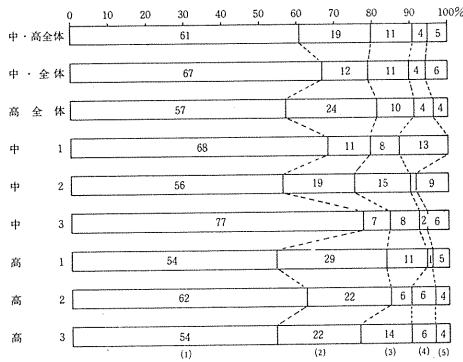
(4) 全くない



9. 教師によって授業態度を変える理由 (設問11と12)

選択肢

- (1) 授業内容がつまらないから (2) 教師に信頼感がもてないから (3) 教師に熱意がなくなげやりだから (4) 授業内容が難しすぎるから (5) 授業内容が易しすぎるから

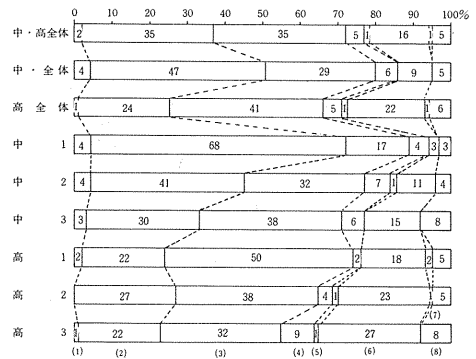


10. 尊敬できる教師の有無と尊敬する教師のタイプ (16と17のクロス)

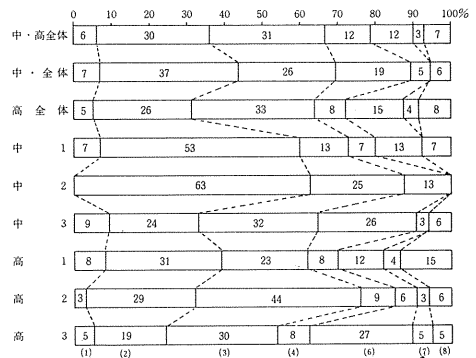
選択肢

- (1) わかる授業をする教師 (2) 授業に興味と関心をもたせてくれる教師 (3) 人間的に暖かみのある教師 (4) 自分のことを理解してくれる教師 (6) 信頼感のもてる教師 (7) 受験勉強を配慮してくれる教師 (8) その他

(1) いる



(2) いない

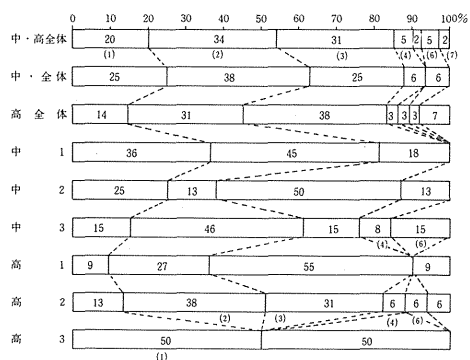


11. 授業で満足できる教科とその理由（設問18と19）

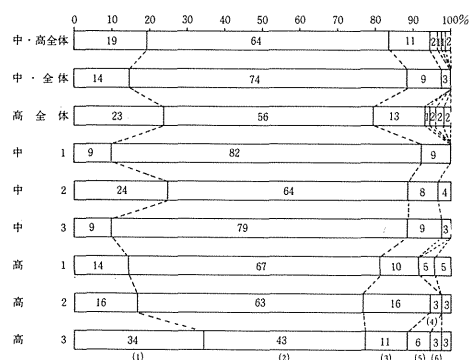
選択肢

- (1) 授業内容がすばらしいから
- (2) その教科内容に興味・関心をもっているから
- (3) 担当の先生に人間的魅力を感じたから
- (4) 自分の力が十分に発揮できたから
- (5) 受験に役立つから
- (6) 将来の勉強に役立つと思えたから
- (7) その他

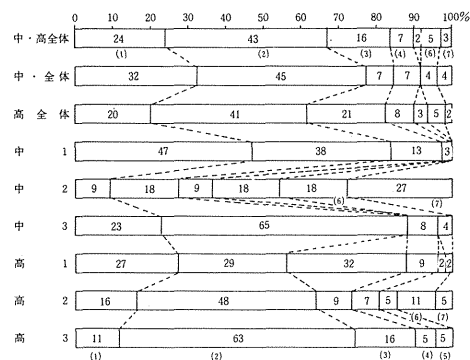
(1) 国語



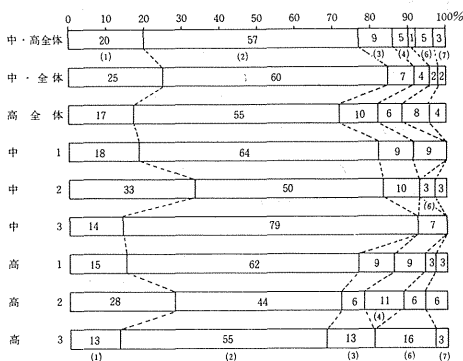
(2) 社会



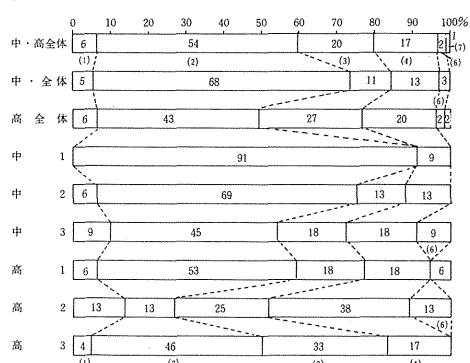
(3) 数学



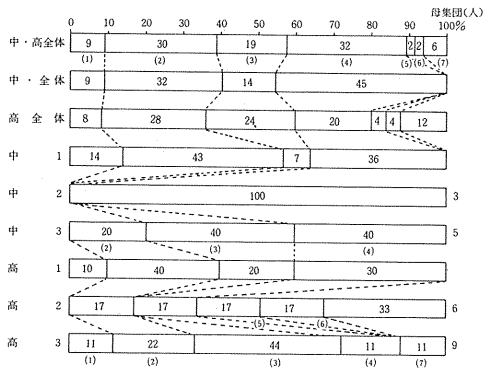
(4) 理科



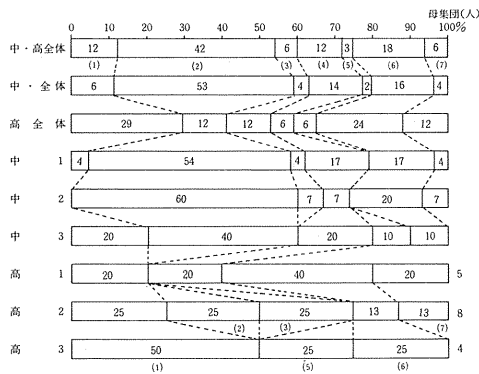
(5) 芸術



(6) 保健体育



(7) 英語

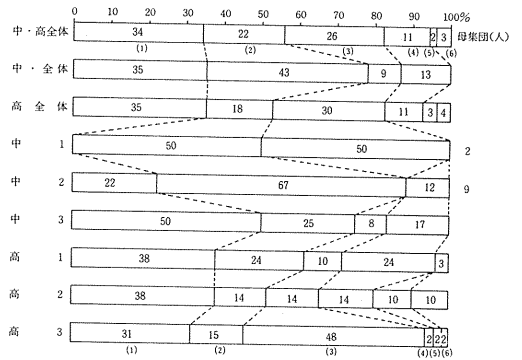


12. 授業に不満のある教科とその理由 (設問20と21)

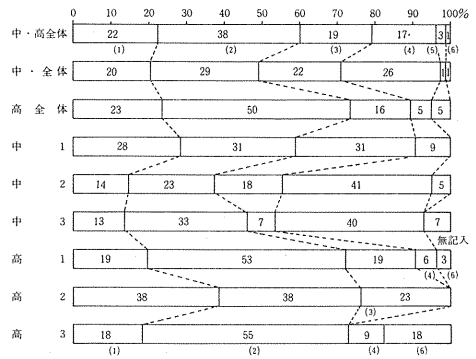
選択肢

- (1) 授業内容がつまらないから (2) その教科内容に興味・関心をもてないから (3) 担当の先生に熱意が感じられないから (4) 自分の力が十分に発揮できないから (5) 受験に役立たないから (6) 将来の勉強に役立つと思えないから

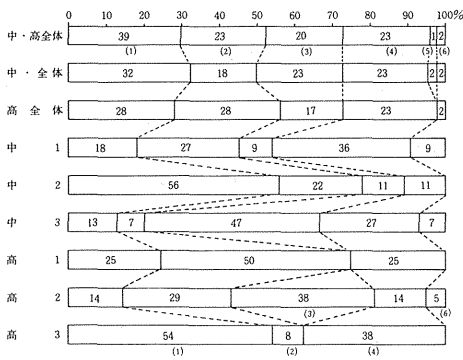
(1) 国語



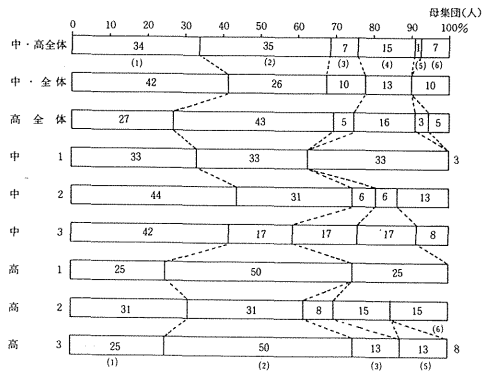
(2) 社会



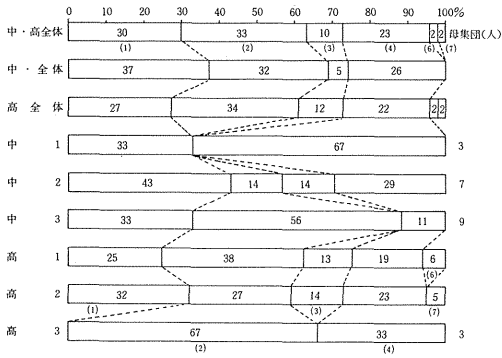
(3) 数学



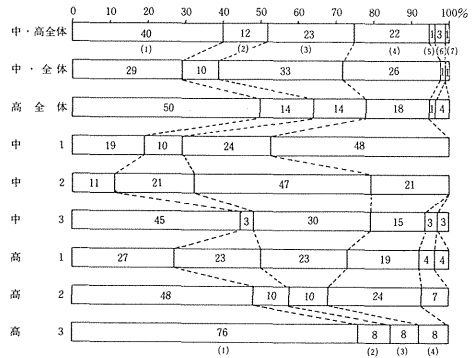
(6) 保健体育



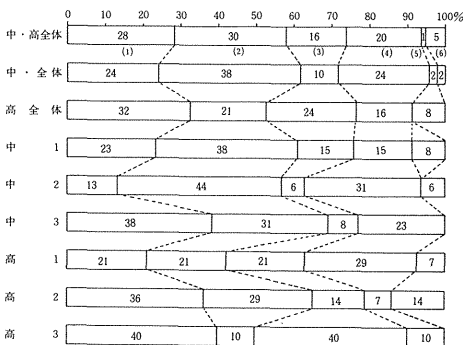
(4) 理科



(7) 英語



(5) 芸術

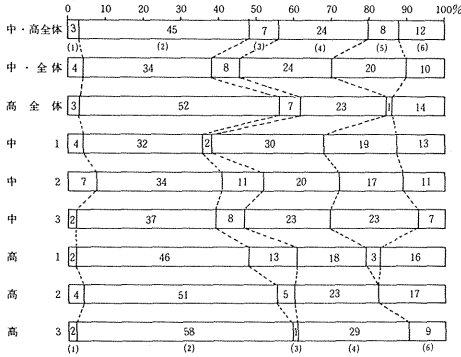


13. 塾・予備校・家庭教師を利用する理由（設問25と26）

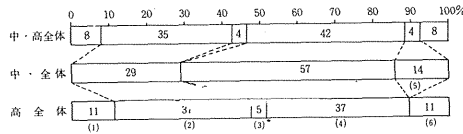
選択肢

- (1) 学校の勉強についてゆけないから
 (2) 学校だけでは不安だから (3) 友人が通っていることに刺激されて (4) 不得意科目の勉強のため (5) 親にいわれて (6) なんとなく気休めに

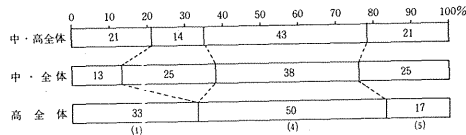
(1) 予備校・塾のみ



(2) 予備校・塾と家庭教師の両方



(3) 家庭教師のみ

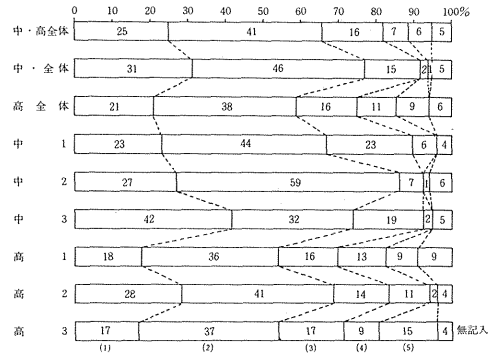


14. 塾・予備校・家庭教師のもとで勉強する時間（一週あたり）（設問25と27）

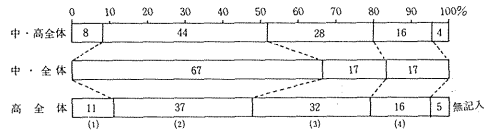
選択肢

- (1) 1～3時間 (2) 3～6時間 (3) 6～9時間 (4) 9～12時間 (5) 12時間以上

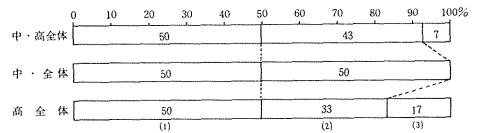
(1) 塾・予備校のみ



(2) 塾・予備校と家庭教師の両方



(3) 家庭教師のみ

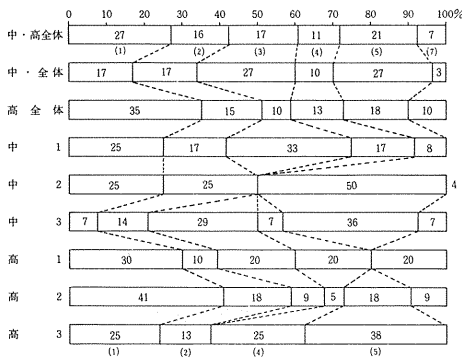


15. 勉強する目的とこの学校の教育の改善方向
(設問29と30)

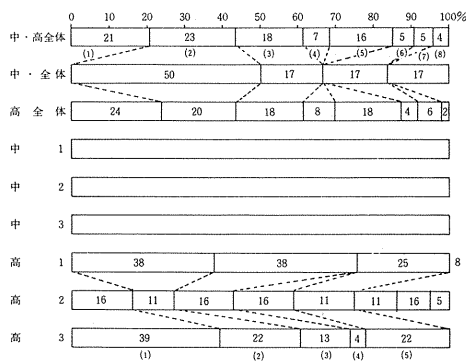
選択肢

- (1) 受験指導の強化 (2) 個人の個性や能力を伸ばす個別指導の強化 (3) 「落ちこぼし」のいないいいな学習指導 (4) 人間教育の充実強化 (5) 向学心を満足させられるような環境整備 (6) 指導力が身につくような指導 (7) 国際性が身につくような指導 (8) その他

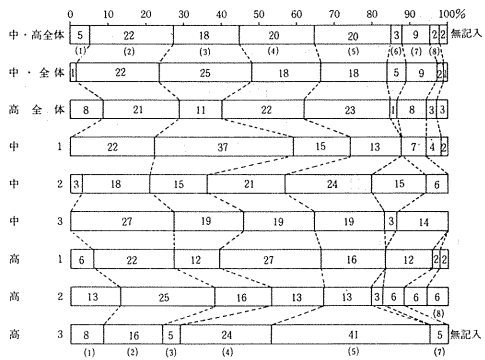
(1) 受験技術の習得



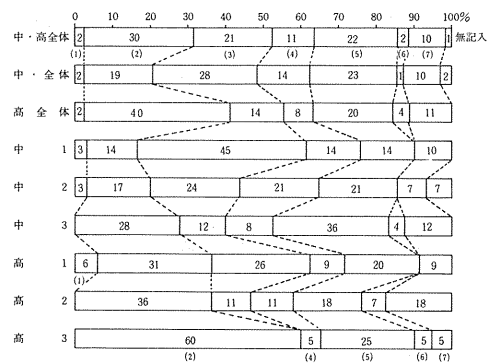
(2) 卒業証書の取得



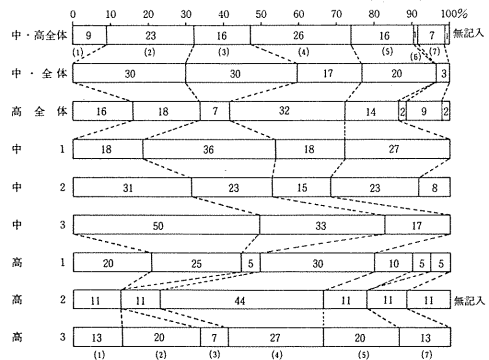
(3) 教養の涵養



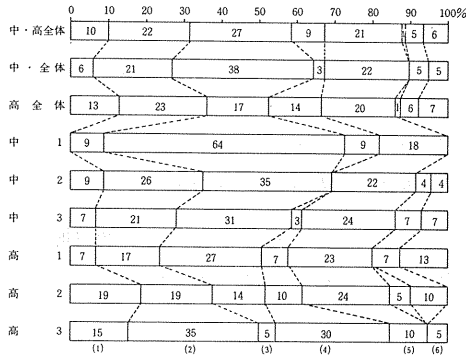
(4) 将来の専門的探求のための準備



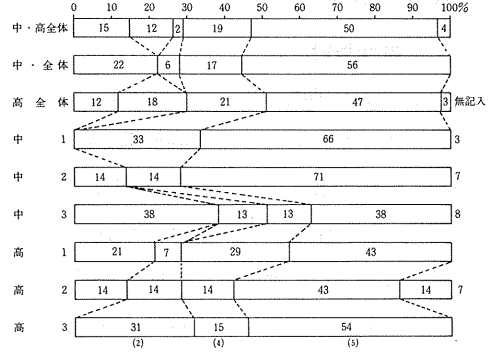
(5) 友人との切磋琢磨



(6) 指導力が身につくような指導



(3) 体育祭

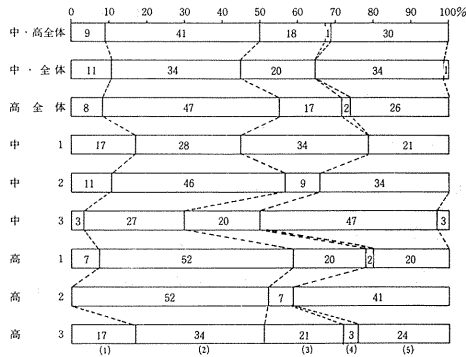


16. 一番好きな学校行事とその理由 (設問32と33)

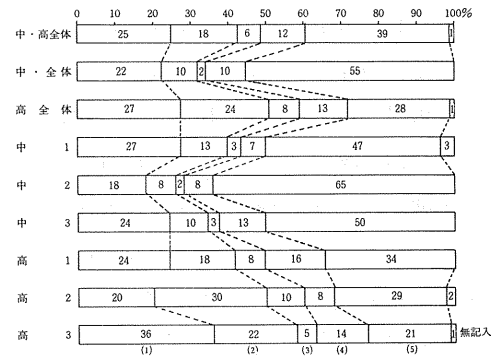
選択肢

- (1) 自主的な活動ができるから
- (2) 友人との連帯感が深まるから
- (3) 友人の性格や能力が理解できるから
- (4) 自分の能力や才能を発見したり、伸ばしたりできるから
- (5) 授業とは違って解放感がえられるから

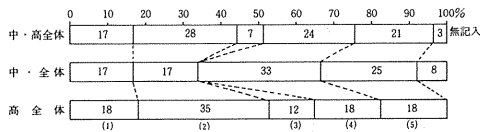
(1) 校外学習



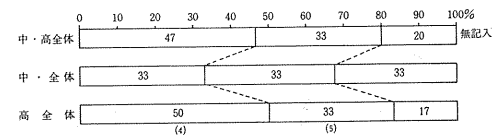
(4) 文化祭



(2) 音楽祭



(5) ロードレース



〔結果の検討〕

I 単純集計

〔1〕入学の動機と入学後の感想について

① 入学の動機として「高校進学に悩まされないですむから」がトップに挙げられ、以下「学力向上への期待」「東大などへの進学者数」「よい先生への期待」「人間形成への期待」などが続いている。教育産業を含めた世間が駒場を「受験校」として見ていることが、そのまま期待値として現れているのであろう。逆に入学の動機となりえなかった項目としては「男子校だから」を挙げているが、当然のことと言えよう。

高校生は中学生に較べて、どの項目についても期待値が低いが、とりわけ「人間形成」については、ほとんど期待感をもっていなかったと答えている。

② 入学後の期待値は入学前に較べて、中学生、高校生ともに全体として大きくなっている。その変化を数字で追うと「男子校だから」 $-0.66 \rightarrow 0$ 、「よい友人への期待」 $0.28 \rightarrow 0.69$ 、「交通の便・学校の環境」 $0.22 \rightarrow 0.68$ などが主なもので、逆に期待値が下降した項目は「学力向上への期待」 $0.92 \rightarrow 0.64$ が挙げられる。特に中学3年生から高校3年生へと学年が進むにつれ、この項目の期待値が減少していることが注目される。特に高校2年生、3年生では受験を気にしながら、「受験学力」が自分の期待するほど伸びていかない現実を反映した期待感の低下か、学校と自分との関りの中で学力形成を考える場合、次第に自分の努力の比重が大きくなる発育段階の当然の姿とみるか、おそらく、両面でとらえることができると思われるが、更にデータを積みあげた分析が必要である。

高校生では、「東大などへの進学者数」の期待値も入学後は入学前に較べて低下している。ここ3～4年の現役合格者数の減少が原因となっているのであろう。

高校2年生、3年生では、「よい先生がいる」期待値も減少している。よい教師＝尊敬できる教師とはかならずしも言えないが、設問17で「尊敬できる教師」のタイプとして学年が進むとともに「信頼感のもてる教師」が増え、上級学年ほど教師を部分でなく全体で評価する傾向が強まることから、生徒の人間的成長がうかがえる。

③ 同一問題での保護者の調査結果（駒場会報78号※1）と較べてみると、大部分の項目について入学前後ともに期待値は生徒の場合より大きい。学力向上の期待値は $1.5 \rightarrow 1.1$ （加重平均値）と入学後は入学前に較べて下降しており、生徒の場合と同様の結果であった。

④ イ～リの各項目の入学前後の期待値平均は以下のとおりである。

学年	入学前	入学後	学年	入学前	入学後
中1	0.53	0.82	高1	0.15	0.39
中2	0.49	0.83	高2	0.09	0.15
中3	0.33	0.83	高3	0.21	0.13

中学生は学年が進むとともに入学前の期待値平均が低下し、入学後はこの値がほぼ一定してい

るのに対し、高校生では、入学前後ともにこの値が中学生に較べて極めて低くなっている。高校3年生だけ、入学前の値が入学後の値より大きくなっている。この学校での生活もあとなずか、という気持ちが現われているのだろうか。

⑤ 本校入学の是非を問うた設問③では、加重平均値が中1と中2、中3と高1、高2と高3の三つのグループに分かれ、学年が進むにつれて入学を「是」とする回答数が減少している。この結果は、入学後の期待値平均が高校2、3年生で最低値を示したことと対応している。

同じ設問についての保護者に対する調査結果（※1）の場合、全体値1.6を中心に±0.1の範囲内にどの学年も含まれており、現場で生活している生徒よりも「甘い」評価をしていることがわかった。

〔Ⅱ〕 授業について

- この学校の授業の印象として「やや難しい」という回答比率が高いが、中学2年生、高校3生では、他学年に較べて「普通」が多くなっている。
- 授業が「難しい」「やや難しい」理由としては、「内容が高度」「内容が多く、かつ高度」とする回答が多かった。なお、高校生では、「内容が多い」という回答は学年が進むとともに減っている。
- 授業についての興味・関心は中学生、高校生ともに学年が進むにつれて低下する傾向にある。同一問題ではないが、昭和44年度と52年度にも「興味」に関する調査を実施した（このときの調査（※2）は生徒自治会が実施した）。設問や調査団体が異なるので単純に比較できないが、「興味がある」がやや増えているのではないだろうか。

昭和52年度調査

	興味がある	興味ないが必要性あり	興味も必要性もなし	その他	無回答
1年	34%	53%	9%		3%
2年	35%	43%	19%	3%	
全体	35%	48%	14%	2%	1%

昭和44年度調査

	1年	2年	3年	平均
全科目に興味があり、ヤル気十分	11%	8%	0%	6%
一部の科目はつまらぬが、大半は興味あり	27%	40%	30%	32%
一部の科目は興味あるが、大半はつまらぬ	29%	36%	42%	39%
ほとんどの科目で興味なく、ヤル気もない	5%	12%	20%	12%
全然ダメ	16%	8%	8%	10%

（昭和52年度の調査は2月に実施されたので、当時の高1、2→現在の高2、3と読み替えて比較すればよいだろう。）

- 授業に対する集中度も上級学年ほど低くなり、授業中に他のことをしている割合が多くなっ

ている。

5. 授業内容としては「教科書に関係なく程度の高い授業」を期待しているが、高2，3年生では「受験用授業」や「問題演習中心の授業」への期待も大きくなっている。また、「教科書を基本に掘りさげた授業」という要望は中学1年で最も多く、学年が進むとともに減少している。
6. 授業のやり方としては「質問を混じえながら理解を確認しながら」という回答は、学年が進むとともに減り、「講義中心」という要望が多くなる。
7. 授業中の友人の発言・発表などからの影郷は全体に小さいが、その中では中学1年生が相対的に最も大きな影響を受け、高校2年，中学3年で影響を受ける生徒が少ない。中学1年生は未知の事柄が多く、高校2年生，中学3年生では、影響を与えるような傑出した存在が少なく、授業に活気がないのであろうか。
8. どの学年も「勉強しなければならない」という気持をかなり強く持っている。特に学年による特徴は現われていない。
9. 高校2年，3年に「勉強しても駄目なのではないか」という不安感が強く現れている。受験を控え、不安な精神状態になっていることがうかがえる。
10. 学習成績については、全体として「やや不満」とする傾向が平均的であるが、はっきり「不満」とする回答は学年が進むとともに増加し、勉強しても思うように成績が伸びないことに對する不安感を裏付けている。
11. 中学1年生を例外として、他の学年では過半数の生徒が教師によって授業態度を「変える」と回答している。

「変える」とする回答は昭和52年と比較して余り変化がない。

昭和52年度調査

教師によって授業態度を変えるか	1年	2年	平均
変えている	83%	84%	83%
変えない	17%	16%	17%

12. 授業態度を変える理由としては、どの学年でも過半数が「授業がつまらない」を挙げているが、高校生になると「教師が信用できない」が増えているのが気になる。
13. 授業中の雰囲気は中学1，2年で「騒々しく落ちつかない」が高校生になると「静か」という割合が増加する。設問4で上級学年ほど集中度が低下することを考え合わせると「静か」が「無気力」につながるようで心配である。

昭和52年度の調査結果と比較すると、今回の調査では「静か」が増加している。

昭和52年度調査

他の生徒の授業態度について	1年	2年	3年
騒しいが自分もそうだから何もしない	39%	41%	39%
騒しいが、注意しても無駄だから自分だけ静かに	28%	20%	25%
騒しいと、注意する	4%	4%	4%
静かだけど、内職をみると嫌な気がする	6%	13%	9%
静かで、皆集中しているからよい	17%	21%	19%
その他	7%	%	%

14. 授業中の「おしゃべり」に対して中学1, 2年で「注意する」や「ときどき注意する」が合わせて過半数をこえている。設問13で中学1, 2年の授業中の「うるさ度」が他学年と比較して突出していることを考えると、騒々しさがある限界を越えると「注意」し始めるのかもしれない。

昭和52年度の調査結果（上記）と比較すると、今回の調査では「自分も騒いでいる」が減り「注意はしないが自分は静かにしている」が増加している。当時と比較して総じて生徒は「おとなしく」なっているが、それとともに高校生間の「相互作用」が弱まっているとすれば問題である。

15. 授業中の「内職」是認派は、学年が進むにつれて増加している。特に高校2, 3年生でこの傾向が強い。

昭和52年度の調査結果とくらべると、設問が異なるので単純比較はできないが現在の方が当時の生徒よりも「内職」是認派が多いようである。高校2, 3年では、今の生徒の方が受験に対して「ゆとり」がないのかもしれない。

昭和52年度調査

授業に臨む態度について	1年	2年	3年
授業だけに集中する	42%	41%	41%
授業と内職を両立させる	29%	30%	29%
内職を中心に人の邪魔にならぬ程度に授業無視	7%	13%	10%
人と話をしている、聞いていないか聞き流す	22%	16%	19%

16. どの学年も7割以上の生徒がこの学校に「尊敬できる」教師がいると答えている。参考までに「好きな先生」に関するNHKの調査結果（※3）は下記のとおりである。

	全体	中学生	高校生
	3,113人	1,764人	1,350人
1. 何人もいる	18.3%	20.1%	15.9%
2. 少しはいる	70.2	70.0	70.4
3. まったくない	10.8	9.1	13.1
4. わからない, 無回答	0.7	0.8	0.6

17. 中学1, 2年までは尊敬できる教師のタイプとして「授業に興味・関心をもたせてくれる教師」を挙げ、学年が進むとともに「人間的に暖かみのある」「人間的に信頼感のもてる」教師という回答が増えてくる。上級生になるほど教師を部分でなく、全体で判断する傾向が強くなる。

NHK調査(※2)でも、高校生の場合は中学生よりも「好きな教師」のタイプを表面的な行動から引き出さずに、教師の「奥」にあるものから引き出す傾向が強い。

	全体	中学生	高校生
	3,113人	1,764人	1,350人
1. 授業がわかりやすい先生	11.3%	12.0%	10.5%
2. ユーモアがある先生	24.5	26.0	22.4
3. どの生徒にも公平に接する先生	21.8	23.9	19.0
4. 自分のまちがいをすなおにあやまる先生	6.7	5.4	8.3
5. 悩みごとと一緒に考えてくれる先生	14.8	15.3	14.2
6. きびしいが根はあたたかい先生	20.4	16.8	25.0
7. その他	0.2	0.0	0.3
8. わからない, 無回答	0.4	0.5	0.3

〔Ⅲ〕 学習内容について

18. 授業に対する「満足度」の高い教科は中学校・高校を合わせると、数学、社会、理科の順である。中学校と高校で満足度の大きく異なるのは、数学と英語で数学では高校の方が満足度が高く、英語ではその逆の傾向がみられた。数学の場合には抽象・論理的思考に高校生の方がより強く惹きつけられることが予想できる。中学校で最初に学ぶ英語は当初はもの珍らしさ、新鮮さもあって満足度が高いが、慣れてくると語学特有の「めんどくささ」が満足度を低下させるのかもしれない。

19. 「満足した」理由ではどの学年でも4割以上が「教科内容に興味・関心」をもっているからと答えているが、高校生の場合、中学生とくらべて「担当教師の人間的魅力」も満足度を決める要因として比重を増している。

20. 「不満足度」の高い教科は、全体としてみると英語、国語・社会の順になっている。特に高校では中学校に比べて国語の不満足度が極めて高い。基本的なことが一通り終わった高校段階

から日本語の難しさが理解されはじめるのかもしれない。英語、国語と語学に対する不満が強いことを考えると、奥が深くてよくつかみ切れないことが原因となっているのかもしれない。

21. 「授業内容がつまらない」「教科内容に興味・関心をもてない」が不満の理由の大きなものであるが、中学生で比較的多かった「自分の力が発揮できない」という理由は高校生では減り、「内容のつまらなさ」が高校で増えている。授業の「面白さ」を判断する基準が高校生になるとより明確になってくるのであろう。

22. 1日あたりの予習・復習の時間をごく粗く算出すると中学生で約1時間、高校生で約40分となった。高校生は中学生にくらべて「学校の勉強」以外に多く時間を費やしているようである。

昭和52年度の調査結果と比較すると、「学校の勉強」に費やす時間は高2、3年で減る傾向にある。

昭和52年調査

	1年	2年
予習をする	70%	52%
しない	30%	48%

	1年	2年
復習をする	52%	36%
しない	48%	64%

予習・復習その他独自の勉強（塾等を含む）に対するウエイト

	0割	1割	3割	5割	7割	9割	10割	無答
1年	17%	12%	25%	24%	11%	2%	5%	3%
2年	31%	14%	19%	13%	9%	2%	5%	6%

23. 直接受験に関係しない教科の学習にとりくむ姿勢としては、学年が進むにつれて「他の教科と同様にまじめにやる」割合が減り、「単位がとれる程度に適当に」や「ほとんど勉強しない」割合が増え、特に高校3年生ではこの傾向が著しい。

24. 受験に直接関係しない教科の授業にとりくむ姿勢では、中学1年～高校2年で約6～7割の生徒が他の教科と同様にきちんと取り組むと答えているのに対し、高校3年生ではその割合が3割に減少し、受験に追われている現状を映しだしている。

昭和52年度の調査結果と比較すると、「その他の教科と同様にまじめに」という項目の選択率が高校3年生で特に低下している。

昭和52年調査 非受験教科あるいは特に興味のない授業に対する態度

	1年	2年
授業にできるだけ出ない	5%	8%
授業には出るが内容を見ない	30%	27%
他の授業と同じようにまじめに	60%	59%
その他	5%	4%
無答	1%	1%

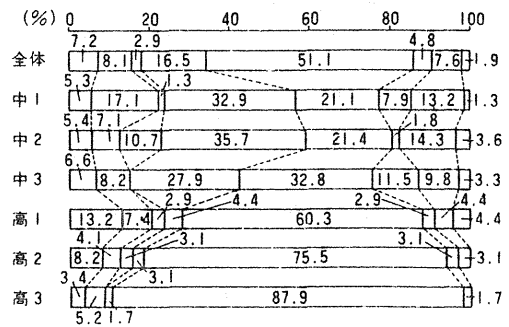
〔Ⅳ〕 塾・予備校・家庭教師について

25. 中学1年を除き、中学生の6～7割、高校1，2年生の7割、高校3年生の8.5割の生徒が塾・予備校・家庭教師を利用している。
26. その理由として「学校だけでは不安だから」が全体として多いが、学年が進むにつれてこの不安感が増大する傾向にある。中学生では約2割の生徒が「親に勧められて」と答えているが、親が子どもの不安感を増幅していないかどうか検討が必要である。保護者に対する調査結果（※1）では、「大学受験のため」という項目が学年が進むとともに増えている。

駒場会報（78号）調査結果

d.〔塾・予備校等の授業を受ける理由〕<aで1と答えた方に>あなたのお子さんが塾・予備校・家庭教師などの授業を受けるもっとも大きな理由は何であると思いますか。次の中から1つ選んで、その番号を記入して下さい。

1. 学校の授業がわからないので、それを補うため
2. 学校の授業がもの足りないので、より高い内容の授業を受けるため
3. 学校の授業が内容的に片寄っているので、むしろなく知るため
4. 学校の授業の予習のため
5. 大学の受験勉強のため
6. 周囲の友人が通っているので不安を感じているため
7. その他



27. 予備校・塾・家庭教師について勉強している時間は（一週あたり）中学生で3～5時間、高校生で4～7時間に達しており、高校1，3年生で少数ながら12時間以上と答えているが目立つ

〔Ⅴ〕 学習環境について

28. この学校の教育の平均的イメージとして、学年が進むにつれて「教師は受験指導していないが、生徒は受験勉強している」が増え、「人間教育が教科教育の中によく反映している」が減少している。

昭和52年度の調査結果と比較すると、高校2年で「教師による受験指導がよくされている」「専門的な学問研究が教科教育によく反映」が増え、「基本的な教育内容の履習の徹底」が減少している。高校3年では「教師は受験指導していないが生徒は受験勉強している」が大幅に増え、「教師による受験指導の徹底」「基本的な教育内容の履習徹底」「人間教育が教科教育に反映」が減っている。

昭和52年度調査（複数選択であったが比較のため単純選択のようにデータ修正）

	1年	2年
教師による受験指導を生徒も受けいれている	6%	12%
教師は受験指導していないが生徒が受験勉強している	48%	40%
高校教育課程の履習の徹底が中心	21%	15%
教師の人間教育が教科学習に反映している	6%	8%
専門的な学問研究が各教科の学習に反映している	9%	17%
その他、無答	10%	8%

29. 学校で勉強をする目的としては、「教養の涵養」「将来の専門的探究のための準備」と答える割合が高いが、高校2年、3年では「卒業証書の取得」が増えてくる。

昭和52年度との比較では、高校3年で「受験技術の習得」が今回の調査で大きく減っているのが目立つ。昭和44年は学園紛争時代であったせいも、今回の調査にくらべると、学年間のバラッキの激しさに驚かされる。

昭和52年度調査（複数選択であったが比較のためデータ修正）

	受験技術	卒業証書	教 養	学問的探究	何もない	無 答	そ の 他
1 年	15%	24%	32%	17%	7%	3%	1%
2 年	21%	19%	29%	15%	12%	2%	2%

昭和44年度調査

	受験技術	卒業証書	教 養	学問的探究	何もない
1 年	0%	6%	40%	25%	25%
2 年	15%	9%	29%	17%	17%
3 年	23%	33%	10%	7%	27%

30. この学校の教育改善の方向としては、学年が進むにつれて「落ちこぼしのないいいいな学習指導」が減り、「受験指導の強化」が増えてくる。

高校2年、3年で昭和52年度の調査と比較すると、今回の調査では「個別指導の強化」が増え、「落ちこぼしのないいいいな学習指導」が減っている。

参考までに保護者に対する調査の結果（※1）とくらべてみると、保護者は「個別指導」を学校に期待するのは無理と判断してか、生徒の場合よりも選択率が低い。

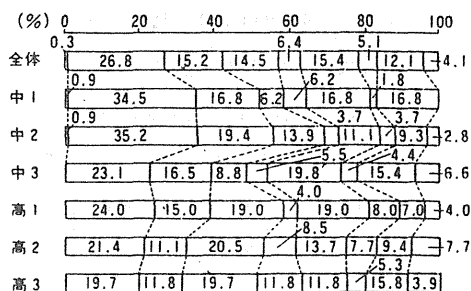
昭和52年度調査（比較のためデータ修正）

	1年	2年
教師による受験指導の強化	15%	16%
個人の学力を伸ばす家庭教師の指導	9%	9%
落ちこぼしがいいよう高校教育課程をていねいに	23%	23%
人間教育の充実・強化	25%	21%
設備を整え、学問的研究ができるように	23%	24%
その他	7%	7%

保護者調査（※1）

Q7.〔授業への学校の今後の対応〕塾・予備校・家庭教師などの授業を受けずにすむためには、学校に対して、今後どうしてほしいと思いますか。次の中から1つ選んで、その番号を記入して下さい。

1. 学校の授業内容を平易にしてもらう
2. 学校の授業内容を高度化・充実化してもらう
3. 教材を精進して基本的な知識の理解に重点を置いた授業をしてもらう
4. 受験のための授業を中心にして受験指導を強化してもらう
5. 文理別・習熟度別など、学級編成に工夫をってもらう
6. ひとりひとりの能力と個性を生かした個人指導を強化してもらう
7. その他
8. わからない



31. 友人の学力水準に対する希望順位は中学校、高校合わせると「いろいろな学力水準」「比較的高い学力水準」が上位でそれぞれ34%、30%を占め、「極めて高い学力水準」は最下位で10%であった。

保護者の調査によると「比較的高い学力水準」52.2%、「極めて高い学力水準」32%で生徒との意識のズレが目立つが、生徒の場合は友人というフィルターを通じたものなので同一レベルで比較することはできないと思われる。

〔Ⅵ〕 その他

32. 好きな学校行事は、文化祭、校外学習の順で合わせて選択率が約8割に達し、他の行事は1割未満である。
33. その理由をみると、学年が進むにつれて「授業とは違って解放感がえられる」が減り、「友人との連帯感が深まるから」や「自分の能力・才能の発見と伸長」が増加している。発達段階からみて、ごく当り前の変化といえよう。

Ⅱ クロス集計について

- (1) 授業が「難しい」「やや難しい」と答えた理由（設問1と2）

中学校、高校合わせてみると、難しい・やや難しいと答えた生徒の約2/3が「内容が高度」「内容が多く、かつ高度」と答えている。特に高校3年ではその割合が9割に達している。学校の勉強と受験勉強との両立が難しくなっている現状を反映しているのであろう。

(2) 授業に対する集中度と希望する授業内容（設問4と5）

「教科書どおりに授業をすすめる」ことを希望するのは、中学校、高校ともに「授業を適当に聞き流し、ときには無視している」（以下「適当」派）生徒に多い。「教科書を早く終え、問題集をやる」ことを希望するのは、中学では「適当」派に多く、高校では「適当」派を除く部分に多い。「教科書を基本に掘り下げた授業」を希望するのは、中学では「適当」派以外に多く、高校では「いつでも集中している」（以下「集中」派）生徒に多い。「教師の独自計画で程度の高い授業をする」ことを望むのは「集中するように努力している」（以下「集中努力」派）生徒と「集中するときもあるが、他のことをしていることもある」（以下「集中・他」派）生徒に多い。「受験中心の授業」を望むのは、中学では「適当」派と「集中」派に多く、高校では「適当」派に多い。特に高校2、3年では集中度が下位の生徒に「受験に役立つ授業」を希望しているのが目立つ。ここでも「授業」と「受験勉強」に亀裂が生じていることがわかる。

(3) 授業に対する集中度と学習成績の満足度（設問4と10）

一般に中学生の方が成績に対する「満足度」が高校生にくらべて相対的に高い。成績に対する「満足度」が相対的に高いのは「集中」派で、はっきり自分の成績に「不満である」と回答する生徒は、中学生、高校生ともに授業に対する「集中度」に反比例して多くなる。

(4) 授業に対する集中度と予習・復習時間（設問4と22）

授業に対する集中度と予習・復習を「ほとんどしない」比率は反比例している。高校3年では、比較的授業に集中している生徒でも他学年にくらべて、予習・復習にあてる時間が相対的に短かくなっている。

長時間（2時間以上）予習・復習をする生徒は授業に対する集中度に比例して多くなる。

(5) 希望する授業内容と学習成績の満足度（設問5と10）

中学校で成績満足度が最も高いのは「教科書＋問題集」の授業を希望する生徒で逆に最も底いのは「教科書どおり」を希望する生徒である。中学の場合、現行の授業に「ついてゆけない」から不満度が高く、少し「ゆとり」があるから不満度が底いと読めるのではないだろうか。

高校の場合、「教科書どおり」を希望する生徒の満足度が相対的に最も高く、「受験に役立つ授業」を希望する生徒の満足度が最も底い。高校の場合この現象をどう読むか単純ではないが、あえて推測すると、まとめ(2)を見てわかるように「受験に役立つ授業」を希望する生徒は集中度が相対的に低い結果、勉強していてもなかなか成績向上につながらないことに焦りを感じているのではないだろうか。

「教科書どおりの授業」を希望する生徒に「適当」派が多いこと考えると、これらの生徒達は授業に「ゆとり」を持って臨み、授業は教科書程度で受験勉強は自分で（あるいは予備校で）と割り切っていることが考えられる。

母集団を構成する人数の少ない「教科書」派を除くと、成績の不満度が相対的に最も低いのは「教師の独自計画で授業をすすめる」ことを希望する生徒達である。(高校の場合)

(6) 希望する授業内容と尊敬する教師のタイプ (設問5と17)

尊敬できる教師のタイプとして「わかる授業をする教師」を選ぶ生徒は、中学、高校ともに「教科書どおり」の授業を希望する生徒に相対的に多い。「授業に興味・関心をもたせてくれる教師」を選ぶ生徒は、中学では「教科書+問題集」の授業を希望する生徒に多く、「教科書どおり」の授業を希望する生徒に少ない。

また「自分のことを理解してくれる教師」や「受験勉強を配慮してくれる教師」を選ぶ生徒は、「受験に役立つ授業」を希望する生徒に多い。

(7) 友人による学習意欲の刺激の度合と望ましい友人関係 (設問7と31)

望ましい友人環境として「極めて高い学力水準をもつ友人が多い」を選ぶ生徒は「友人に学習意欲をよく刺激される」を選ぶ生徒に相対的に多い。

「いろいろな学力水準をもつ友が多い」を選ぶ生徒の%は、友人による学習意欲の「刺激度」に反比例して増加する傾向にある。

(8) 「勉強しても駄目なのではないか」という不安感と学習成績の満足度 (設問9と10)

成績に対する満足度が低い生徒ほど勉強しても駄目なのではないかという不安感をもつ傾向にある。

(9) 教師によって授業態度を変える理由 (設問11と12)

中学、高校とも教師によって授業態度を変える理由として「授業内容がつまらないから」が過半数を越すが、高校になると「教師に信頼感をもてないから」も増加する。

(10) 尊敬できる教師の有無と尊敬できる教師のタイプ (設問16と17)

尊敬できる教師が「いる」と答えた場合、中学校では尊敬できる教師のタイプとして「授業に興味と関心をもたせてくれる教師」を選ぶ比率が高いのに対し、高校では、「人間的に暖かみのある教師」を選ぶ比率が高く、上級学年になるにつれて「信頼感のもてる教師」が増加してくる。

尊敬できる教師が「いる」場合と「いない」場合とを比較すると「いない」場合は中学生で「教科に興味と関心をもたせてくれる」が大幅に減っている。(47%→37%) 高校生で「いない」と答えた場合、「自分のことを理解してくれる教師」、「受験勉強を配慮してくれる教師」が増え、「人間的に暖かみのある教師」、「信頼のもてる教師」が減っている。

(11) 授業で満足できる教科とその理由 (設問18と19)

どの教科も満足できる理由の最も大きなものは「教科内容に興味・関心をもったから」である。以下の表は各項目の選択比率の最も高い教科を示したものである。ある程度、教科の特徴があらわれているのではないだろうか。

項 目	選 択 比 率 の 最 も 高 い 教 科	
	中 学 校	高 校
授業内容がすばらしい	数 学	社 会
その教科に興味・関心をもっている	社 会	社会・理科
担当の先生に人間の魅力を感じる	国 語	国 語
自分の力が十分に発揮できる	保 健 体 育	芸術・保健体育
受験に役立つ	国 語	理 科
将来の勉強に役立つ	英 語	英 語

(12) 授業に不満のある教科とその理由（設問20と21）

項 目	選 択 比 率 の 最 も 高 い 教 科		最 も 低 い 教 科	
	中 学 校	高 校	中 学 校	高 校
授業内容がつまらない	保 健 体 育	英 語	社 会	社 会
その教科に興味・関心をもてない	国 語	社 会	英 語	英 語
担当の先生に熱意が感じられない	英 語	国 語	理 科	保 健 体 育
自分の力が十分に発揮できない	{ 社会・理科 英 語	数学・理科	{ 国 語 ・保健体育	社 会
受験に役立たない	芸 術	芸 術	略	略
将来の勉強に役立たない	保 健 体 育	保 健 体 育	略	略

(13) 塾・予備校・家庭教師を利用する理由（設問25と26）

家庭教師を除き、予備校・塾を利用する最も大きな理由は「学校だけでは不安だから」で家庭教師まで含めると「不得意科目の克服」が第1位となる。また、高校では塾・予備校に通わず家庭教師だけの場合「学校の勉強についてゆけない」もその他の場合にくらべて圧倒的に多くなる。家庭教師だけの場合、「親に言われて」もかなりの比率を占める。

(14) 塾・予備校・家庭教師のもとでの週あたり勉強時間（設問25と27）

家庭教師だけの場合1～3時間が最も多く、塾・予備校のみの場合は3～6時間に達している。高校では三つ全部を併用している場合、12時間以上に達する生徒も目立つ。

(15) 勉強する目的とこの学校の教育の改善方向（設問29と30）

目 的	改 善 方 向 の 特 徴	
	中 学 校	高 校
受験技術の習得	ていねいな学習指導，環境の整備が多い	受験指導強化（特に高2）高3では環境整備が多い
卒業証書の取得	個別指導強化が多い	学年が進むにつれて受験指導強化が増えてくる
教養の涵養	中1でていねいな学習指導 中3で個別指導の強化	高1で人間教育充実・個別指導強化 高2で個別指導強化・ていねいな学習指導 高3で環境整備・人間教育充実
将来の専門的探究のための準備	学年が進むにつれて，個別指導強化，人間教育充実が増え，ていねいな学習指導が減少してくる	学年が進むとともに個別指導強化が増えてくる
友人との切磋琢磨	学年が進むとともに個別指導強化が増える	人間教育の充実が多いが，学年が進むにつれ，環境整備も増えてくる
指導力が身につくような指導	学年が進むとともにていねいな学習指導が減り，環境整備が増える	学年が進むにつれて，個別指導強化，人間教育充実が増え，ていねいな学習指導が減る

(16) 一番好きな学校行事とその理由（設問32と33）

学校行事	理 由 の 傾 向	
	中 学 校	高 校
校 外 学 習	学年が進むとともに解放感が得られるが増加	友人との連帯感が深まるが多い
音 楽 祭	自分の能力・才能の発見や伸長が多い	友人との連帯感が深まるが多い
体 育 祭	特に中1，2で解放感が得られるが多い	解放感が得られるが最も多いが，学年が進むにつれて連帯感が深まるが増加してくる
文 化 祭	解放感が得られるが多い	学年が進むにつれて解放感が得られるが減少し，自主的活動，連帯感が深まるが増加
ロ ー ド レ ース	自分の能力や才能の発見・伸長と解放感が得られるが多い	自分の能力・才能の発見・伸長が多い

参考・引用文献

- ※ 1 駒場会報 駒場会編集委員会 1983. 12. 24 発行 (78号)
- ※ 2 本校紀要17集 東京教育大学附属駒場中・高等学校研究部 1978年2月
- ※ 3 「中学生・高校生の生活と意識」調査 NHK放送世論調査所 昭和58年1月